

【表紙】
【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項
【提出先】 関東財務局長
【提出日】 平成27年10月15日
【事業年度】 自 平成25年11月1日
至 平成26年10月31日
【会社名】 ロイヤル・バンク・オブ・カナダ
(Royal Bank of Canada)
【代表者の役職氏名】 エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、トレジャラー
(Executive Vice-President and Treasurer)
ジェームズ・サーレム
(James Salem)
ヴァイス・プレジデント、コーポレート・トレジャリー
(Vice-President, Corporate Treasury)
デビッド・M・パワー
(David M. Power)
【本店の所在の場所】 H3C 3A9 カナダ ケベック州モンリオール
ブレイス・ヴィル・マリー1
(1 Place Ville Marie, Montreal, Quebec, Canada H3C 3A9)
【代理人の氏名又は名称】 弁護士 小林 穰
【代理人の住所又は所在地】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー
アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】 03-6888-1000
【事務連絡者氏名】 弁護士 熊本 哲也
【連絡場所】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー
アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】 03-6888-1157
【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

1【提出理由】

平成27年3月27日に提出いたしました平成26年10月31日に終了した事業年度に係る有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

将来の予測に関する記述についての注意

第一部 企業情報

第1 本国における法制等の概要

1 会社制度等の概要

第2 企業の概況

3 事業の内容

第3 事業の状況

4 事業等のリスク

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第5 提出会社の状況

5 コーポレート・ガバナンスの状況等

第6 経理の状況

1 財務書類

3【訂正箇所】

訂正箇所は____線で示しております。

表紙

将来の予測に関する記述についての注意

< 訂正前 >

(前 略)

将来の予測に関する記述には、その性質上、仮定することが必要となり、特有の内在するリスクおよび不確実性に左右される。そのため、当グループの予測、予見、見通し、予期または結論は正確であることが証明されない、我々の仮定が正確でない、また我々の財務業績目標、展望および戦略的目標が実現しない可能性がある。多くのリスク要因により、当グループの実際の業績が将来の予測に関する記述に記載されている予想から大きく乖離する可能性があるため、これらの記述（当グループの制御し得ないものであり、その影響は予測が難しい）に全面的に依拠しないよう注意されたい。これらの要因には、下記「第一部 第3 4 事業等のリスク」および「第一部 第3 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の「リスク管理」の項に記載されている、信用、市場、流動性および資金調達、保険、規制遵守、業務、戦略、評判、法的・規制的環境、競争ならびにシステムに関するリスクおよびその他のリスク、すなわち、マネー・ロンダリング防止、ホールセール信用業務における成長ならびに高水準のカナダの家計負債に関するリスク、サイバー・セキュリティに関するリスク、当グループが事業を行っているカナダ、米国およびその他の国における景気および経済の状況に関するリスク、政府の財政・金融およびその他の政策の変更の影響に関するリスク、税金リスクおよび透明性、当グループの従業員の誘致能力および保持能力、当グループの顧客および取引先に関する情報の正確性および完全性、当グループの販売ネットワークの拡大と統合に関するリスクならびにモデル・リスク、ITリスク、情報管理リスク、ソーシャル・メディア・リスク、環境リスクならびに第三者への外部委託リスクが含まれる。

(中 略)

本書において言及されているウェブサイトに掲載される情報または当該ウェブサイトを通じて得られる情報は、本書の一部を構成するものではない。本書に記載されるウェブサイトへの参照は、文字通りの参照であり、参考のために掲載している。

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

将来の予測に関する記述には、その性質上、仮定することが必要となり、特有の内在するリスクおよび不確実性に左右される。そのため、当グループの予測、予見、見通し、予期または結論は正確であることが証明されない、我々の仮定が正確でない、また我々の財務業績目標、展望および戦略的目標が実現しない可能性がある。多くのリスク要因により、当グループの実際の業績が将来の予測に関する記述に記載されている予想から大きく乖離する可能性があるため、これらの記述（当グループの制御し得ないものであり、その影響は予測が難しい）に全面的に依拠しないよう注意されたい。これらの要因には、下記「第一部 第3 4 事業等のリスク」および「第一部 第3 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の「リスク管理」の項に記載されている、信用、市場、流動性および資金調達、保険、規制遵守、業務、戦略、評判、法的・規制的環境、競争ならびにシステムに関するリスクおよびその他のリスク、すなわち、マネー・ロンダリング防止、ホールセール貸出業務における成長ならびに高水準のカナダの家計負債に関するリスク、サイバー・セキュリティに関するリスク、当グループが事業を行っているカナダ、米国およびその他の国における景気および経済の状況に関するリスク、政府の財政・金融およびその他の政策の変更の影響に関するリスク、税金リスクおよび透明性、当グループの従業員の誘致能力および保持能力、当グ

ループの顧客および取引先に関する情報の正確性および完全性、当グループの販売ネットワークの拡大と統合に関するリスクならびにモデル・リスク、ITリスク、情報管理リスク、ソーシャル・メディア・リスク、環境リスクならびに第三者への外部委託リスクが含まれる。

(中 略)

本書において言及されているウェブサイトに掲載される情報または当該ウェブサイトを通じて得られる情報は、本書の一部を構成するものではない。本書に記載されるウェブサイトへの参照は、文字通りの参照であり、参考のために掲載している。

(後 略)

第一部 企業情報

第1 本国における法制等の概要

1 会社制度等の概要

(1) 提出会社の属する国・州等における会社制度

() 銀行法に基づく銀行株式に関する規制

<訂正前>

銀行法にはカナダの勅許銀行の株式の割当、譲渡、取得、所有および議決権行使に関する制限事項が含まれている。要約すると、銀行法に従い、これらの制限事項によって、銀行は下記の行為を認められていない。

(イ) 銀行法による承認を得ずに、特定の者およびその者の支配する法人が実質的に所有する、120億ドル超の株主持分を有する銀行のある種類の株式の総数とその種類の株式の10%を既に超えているか、あるいは当該発行または譲渡によって超える場合にはこの者に対し株式を発行ないし譲渡をすること、または、

(ロ) 一定の例外を除き、カナダ連邦政府、州政府ないしそれらの代理人、もしくは外国政府ないし外国政府の下部組織あるいはその代理人に対し株式を発行ないし譲渡をすること。

(後 略)

<訂正後>

銀行法にはカナダの勅許銀行の株式の割当、譲渡、取得、所有および議決権行使に関する制限事項が含まれている。要約すると、銀行法に従い、これらの制限事項によって、銀行は下記の行為を認められていない。

(イ) 銀行法による承認を得ずに、特定の者およびその者の支配する法人が実質的に所有する、120億カナダドル超の株主持分を有する銀行のある種類の株式の総数とその種類の株式の10%を既に超えているか、あるいは当該発行または譲渡によって超える場合にはこの者に対し株式を発行ないし譲渡をすること、または、

(ロ) 一定の例外を除き、カナダ連邦政府、州政府ないしそれらの代理人、もしくは外国政府ないし外国政府の下部組織あるいはその代理人に対し株式を発行ないし譲渡をすること。

(後 略)

第 2 企業の概況

3 事業の内容

<訂正前>

(前 略)

ウェルス・マネジメントは、カナディアン・ウェルス・マネジメント、US&インターナショナル・ウェルス・マネジメント、およびグローバル・アセット・マネジメント (GAM) からなる。ウェルス・マネジメントは、世界の目標市場における個人および機関顧客にサービスを提供している。ウェルス・マネジメントは、主としてカナダ、米国、英国、チャンネル諸島、ヨーロッパ大陸およびアジアを中心とした主要な金融センターに所在する当グループのオフィスから、富裕層 (HNW) および超富裕層 (UHNW) の顧客に対し、包括的な投資、信託、銀行、信用およびその他の資産管理・運用サービスを提供している。また、当グループの資産管理・運用グループであるグローバル・アセット・マネジメント (ブルーベイ・アセット・マネジメント (ブルーベイ)) を含む。) は、投資運用サービスにおいては世界トップの地位を確立し、機関投資家に対して直接、また個人顧客に対しては当グループの販売ルートおよび第三者販売業者を通じて、投資戦略および資金ソリューションの提供を行っている。

(中 略)

インベスター&トレジャリー・サービスは、世界の金融機関およびその他の機関投資家に対して、資産管理・運用、証券保管、支払い、トレジャリー・サービスおよびトランザクション・バンキングを提供する専門サービス・プロバイダーである。証券保管、投資顧問、資金調達その他のサービスを提供することで、顧客の資産を保護し、流動性を最大化し、複数の法域にわたるリスクを管理している。また、RBCの短期的な資金調達および流動性管理も行っている。当グループは、北米、ヨーロッパ、中東およびアジア太平洋に18のオフィスのネットワークを有し、管理資産では上位10社のグローバル・カストディアンである。

(中 略)

北米においては、企業向けおよび投資銀行業務、エクイティおよびデット・オリジネーションならびに販売、ならびにストラクチャリングおよびトレーディング等、あらゆる商品およびサービスを提供している。北米以外では、英国およびヨーロッパならびにアジア太平洋地域の主要な地域においてプレゼンスを有しており、エネルギー、鉱業およびインフラ等の主要な専門分野において様々なサービスを提供している。現在はヨーロッパの工業、消費者および医療の分野に進出しつつある。

(中 略)

競合

当グループが2014年10月31日現在、競合している主要な市場は以下のとおりである。

当グループの競合にはカナダの他のスケジュール 銀行も含まれており、当グループは、新規の事業分野において拡大しているため、当グループの競合相手の幅も拡大し、従来金融機関、投資顧問会社、ブローカー、投資ディーラー、個人ブローカー、投資信託会社、世界のプライベート・バンク、資産運用会社、証券代行業者、保険会社、インターネット銀行ならびに専門金融サービス業者によって提供されていた商品およびサービスを提供する他のカナダの銀行、信託銀行、外国銀行、自己金融会社、信用組合、ならびにケース・ポピュラーおよび企業が含まれるようになった。主要な競合要因には、提供された金融商品およびサービスの幅および特性、価格、販売ならびにサービスの質が含まれる。

パーソナル&コマーシャル・バンキング

銀行関係業務が競争を繰り広げるカナダの金融サービス業界は、その他のスケジュール 銀行、独立信託銀行、外国銀行、信用組合、ケース・ポピュラーおよび自動車ローン会社により構成されている。この競争環境の中、当グループはリテール向けおよび企業向けのあらゆる金融商品カテゴリーにおいてトップクラス（第1位または第2位）の市場シェアを誇り、カナダ中に最大の支店ネットワーク、最多のATMおよび最大のモバイル販売ネットワークを有している。カリブ海地域においては、リテールおよび法人ならびに公的機関を顧客とする銀行、信託会社および投資運用会社と競合している。英国領カリブ海地域においては、18の国と地域に93の支店を有し、第2位の資産シェアを維持している。米国内においては、主に米国内で業務を行う他のカナダの金融機関と競争している。

（後 略）

< 訂正後 >

（前 略）

ウェルス・マネジメントは、カナディアン・ウェルス・マネジメント、US&インターナショナル・ウェルス・マネジメント、およびグローバル・アセット・マネジメント（GAM）からなる。ウェルス・マネジメントは、世界の目標市場における個人および機関顧客にサービスを提供している。ウェルス・マネジメントは、主としてカナダ、米国、英国、チャンネル諸島、ヨーロッパ大陸およびアジアを中心とした主要な金融センターに所在する当グループのオフィスから、富裕層（HNW）および超富裕層（UHNW）の顧客に対し、包括的な投資、信託、銀行、信用およびその他の資産管理・運用サービスを提供している。また、当グループの資産管理・運用グループであるグローバル・アセット・マネジメント（ブルーベイ・アセット・マネジメント（ブルーベイ）を含む。）は、投資運用サービスにおいては世界トップクラスの地位を確立し、機関投資家に対して直接、また個人顧客に対しては当グループの販売ルートおよび第三者販売業者を通じて、投資戦略および資金ソリューションの提供を行っている。

（中 略）

インベスター&トレジャリー・サービスは、世界の金融機関およびその他の機関投資家に対して、資産管理・運用、証券保管、支払い、トレジャリー・サービスおよびトランザクション・バンキングを提供する専門サービス・プロバイダーである。証券保管、投資顧問、資金調達その他のサービスを提供することで、顧客の資産を保護し、流動性を最大化し、複数の法域にわたるリスクを管理している。また、RBCの

短期的な資金調達および流動性管理も行っている。当グループは、北米、ヨーロッパ、中東およびアジア太平洋に18のオフィスのネットワークを有し、管理資産額では上位10社のグローバル・カストディアンである。

(中 略)

北米においては、企業向けおよび投資銀行業務、エクイティおよびデット・オリジネーションならびに販売、ならびにストラクチャリングおよびトレーディング等、あらゆる商品およびサービスを提供している。北米以外では、英国およびヨーロッパならびにアジア太平洋地域の主要な地域において有意なプレゼンスを有しており、エネルギー、鉱業およびインフラ等の主要な専門分野において様々な機能を提供している。現在はヨーロッパの工業、消費者および医療の分野に進出しつつある。

(中 略)

競合

当グループが2014年10月31日現在、競合している主要な市場は以下のとおりである。

当グループの競合にはカナダの他のスケジュール 銀行も含まれており、当グループは、新規の事業分野において拡大しているため、当グループの競合相手の幅も拡大し、従来金融機関、投資顧問会社、ブローカー、投資ディーラー、個人ブローカー、投資信託会社、世界のプライベート・バンク、資産運用会社、証券代行業者、保険会社、インターネット銀行ならびに専門金融サービス業者によって提供されていた商品およびサービスを提供する他のカナダの銀行、信託銀行、外国銀行、自動車ローン会社、信用組合、ならびに庶民金庫および企業が含まれるようになった。主要な競合要因には、提供された金融商品およびサービスの幅および特性、価格、販売ならびにサービスの質が含まれる。

パーソナル&コマーシャル・バンキング

銀行関係業務が競争を繰り広げるカナダの金融サービス業界は、その他のスケジュール 銀行、独立信託銀行、外国銀行、信用組合、庶民金庫および自動車ローン会社により構成されている。この競争環境の中、当グループはリテール向けおよび企業向けのあらゆる金融商品カテゴリーにおいてトップクラス（第1位または第2位）の市場シェアを誇り、カナダ中に最大の支店ネットワーク、最多のATMおよび最大のモバイル販売ネットワークを有している。カリブ海地域においては、リテールおよび法人ならびに公的機関を顧客とする銀行、信託会社および投資運用会社と競合している。英国領カリブ海地域においては、18の国と地域に93の支店を有し、第2位の資産シェアを維持している。米国内においては、主に米国内で業務を行う他のカナダの金融機関と競争している。

(後 略)

第3 事業の状況

4 事業等のリスク

< 訂正前 >

< ホールセール信用の増加 >

当グループのホールセール貸出金は、主としてキャピタル・マーケットに牽引され、近年大幅に伸びている。米国市場における拡大および顧客関係強化戦略、ならびに高い需要を反映して、米国における貸出金残高は大幅に増加した。増加は様々な分野にわたり、商業用不動産およびレバレッジド・ファイナンスにおける増加が著しかった。この増加に伴うリスクを管理するため、すべての事業、ポートフォリオおよび取引にわたる単一銘柄、国および産業エクスポージャーへの集中を制限するなど、分散化に重点を置いている。当グループは、ホールセール信用ポートフォリオの拡大に際して、引き続き厳格な貸出基準を遵守している。また、厳しい経済情勢による潜在的影響を評価する手段として、ポートフォリオのストレス・テストも実施している。

< 訂正後 >

< ホールセール貸出の増加 >

当グループのホールセール貸出金は、主としてキャピタル・マーケットに牽引され、近年大幅に伸びている。米国市場における拡大および顧客関係強化戦略、ならびに高い需要を反映して、米国における貸出金残高は大幅に増加した。増加は様々な分野にわたり、商業用不動産およびレバレッジド・ファイナンスにおける増加が著しかった。この増加に伴うリスクを管理するため、すべての事業、ポートフォリオおよび取引にわたる単一銘柄、国および産業エクスポージャーへの集中を制限するなど、分散化に重点を置いている。当グループは、ホールセール貸出ポートフォリオの拡大に際して、引き続き厳格な貸出基準を遵守している。また、厳しい経済情勢による潜在的影響を評価する手段として、ポートフォリオのストレス・テストも実施している。

< サイバー・セキュリティ >

< 訂正前 >

当行は、世界規模で事業モデルをサポートし、顧客経験を高めるため、技術の進歩を活用している。このため、サイバー・セキュリティ、および市場におけるサイバー攻撃のさらなる高度化に関連するリスクにさらされている。業界における攻撃は、機密データの漏洩または事業活動の混乱を引き起こすことが多い。万が一攻撃されれば、当グループの秘密情報、ならびに顧客および当グループと関係のある第三者の秘密情報が漏洩するおそれがあり、また救済費用、収益の喪失、規制当局による追加精査、訴訟および評判の損失等、マイナスの結果につながるおそれがある。当グループは、サイバー防衛技術、厳密なプロセスおよび制御に対する投資、ならびにサイバー防衛専門家チームに対する投資の継続および拡大を通じて、当行を保護することに尽力している。当グループの投資により、当グループが今日直面するリスクを管理し、進化する脅威に備えることができている。

< 訂正後 >

当行は、世界規模で事業モデルをサポートし、顧客経験を高めるため、技術の進歩を活用している。このため、サイバー・セキュリティ、および市場におけるサイバー攻撃のさらなる高度化に関連するリスクにさらされている。業界における攻撃は、不適切な使用を目的とした機密データへの不正アクセスまたは事業活動の混乱を引き起こすことが多い。万が一攻撃されれば、当グループの秘密情報、ならびに顧客および当グループと関係のある第三者の秘密情報が漏洩するおそれがあり、また救済費用、収益の喪失、規制当局による追加精査、訴訟および評判の損失等、マイナスの結果につながるおそれがある。当グループは、サイバー防衛技術、厳密なプロセスおよび制御に対する投資、ならびにサイバー防衛専門家チームに対する投資の継続および拡大を通じて、当行を保護することに尽力している。当グループの投資により、当グループが今日直面するリスクを管理し、進化する脅威に備えることができている。

<その他のリスク>

<事業および景気情勢>

<訂正前>

(前 略)

また、当グループの利益は、金利変動の影響も受けやすい。カナダ、米国および世界的に低金利が続いているため、パーソナル&コマーシャル・バンキングおよびウェルス・マネジメントを中心としたスプレッド収縮によって、受取利息純額はマイナスの影響を受けている。金利が上がれば、現在スプレッド収縮の影響を受けている業務にはプラスとなるが、金利が大幅に上がった場合は、消費者の家計にマイナスの影響を与えるおそれがある。そうすると、信用が悪化し、財務業績、特に個人向けおよび商業銀行サービスならびにウェルス・マネジメントのいくつかの業務等にマイナスの影響を与える可能性がある。当グループの財務業績に影響を与えうる経済および市場要因についての詳細は、下記「第一部 第3 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の「パーソナル&コマーシャル・バンキング」および「ウェルス・マネジメント」の各項を参照のこと。

(後 略)

<訂正後>

(前 略)

また、当グループの利益は、金利変動の影響も受けやすい。カナダ、米国および世界的に低金利が続く場合、パーソナル&コマーシャル・バンキングおよびウェルス・マネジメントを中心としたスプレッド収縮によって、受取利息純額はマイナスの影響を受ける可能性がある。金利が上がれば、現在スプレッド収縮の影響を受けている業務にはプラスとなるが、金利が大幅に上がった場合は、消費者の家計にマイナスの影響を与えるおそれがある。そうすると、信用が悪化し、財務業績、特にパーソナル&コマーシャル・バンキングおよびウェルス・マネジメントのいくつかの業務等にマイナスの影響を与える可能性がある。当グループの財務業績に影響を与えうる経済および市場要因についての詳細は、下記「第一部 第3 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の「パーソナル&コマーシャル・バンキング」および「ウェルス・マネジメント」の各項を参照のこと。

(後 略)

<税金リスクおよび透明性>

<訂正前>

(前 略)

顧客のニーズの評価に関して、当グループは、取引の目的を含む多くの要因を検討している。当グループでは、事業目的および経済的実質のある誠実な取引のみをサポートするよう徹底している。万が一、納税義務を逃れることを目的とした顧客取引に気付いた場合は、取引を中断する。

当グループが世界40か国にオフィスを有することから、当グループを管轄する各税務当局と当グループとの間で、複雑な税法および会計原則の法的解釈に相違が生じることが少なくない。このような場合、当グループでは、問題の迅速な判断および即時解決を図るため、税務当局との率直かつ透明な対話を心がけている。

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

顧客のニーズの評価に関して、当グループは、取引の目的を含む多くの要因を検討している。当グループでは、事業目的および経済的実質のある誠実な顧客取引のみをサポートするよう徹底している。万が一、納税義務を逃れることを目的とした顧客取引に気付いた場合は、取引を中断する。

当グループが世界40か国にオフィスを有することから、当グループを管轄する各税務当局と当グループとの間で、複雑な税法および会計原則の法的解釈に相違が生じることが少なくない。このような場合、当グループでは、問題の迅速な判断および即時解決を図るため、税務当局との率直かつ透明な対話を心がけている。税金リスクを適切に管理できない場合および税務当局との問題が解決できない場合、当グループの業績に悪影響が生じ、または当グループの評判に重大な影響が生じるおそれがある。

(後 略)

< 情報技術リスク >

< 訂正前 >

当グループは、事業活動、ならびに戦略的事業目標の達成において、情報技術を活用している。情報技術リスクは、グループ内における情報技術の使用、所有、運用、関与、影響および採用に伴う、事業に対するリスクである。これは、当グループの事業にマイナスの影響を及ぼすおそれのある情報技術関連の出来事である。これにより、事業やサービスの混乱、知的財産や秘密情報の盗用たり、規制当局による監視強化、訴訟提起、評価の毀損につながるおそれがある。当グループは、情報技術リスクを管理するため、グループ規模の情報技術リスク管理体系を確立している。

< 訂正後 >

当グループは、事業活動、ならびに戦略的事業目標の達成において、情報技術を活用している。情報技術リスクは、グループ内における情報技術の使用、所有、運用、関与、影響および採用に伴う、事業に対するリスクである。これは、当グループの事業にマイナスの影響を及ぼすおそれのある情報技術関連の出来事である。これにより、事業やサービスの混乱、知的財産や秘密情報の盗用、規制当局による監視強化、訴訟提起、評価の毀損につながるおそれがある。当グループは、情報技術リスクを管理するため、グループ規模の情報技術リスク管理体系を確立している。

<ソーシャルメディア・リスク>

<訂正前>

ソーシャルメディアの規模が拡大し注目度が上がるにつれ、数々のリスクが生まれた。これらのリスクは、ブランドおよび評判に対するダメージ、情報の漏洩、規制要件の不遵守および統制リスク等である。ソーシャルメディア関連のリスクを管理するため、ソーシャルメディアの事業利用および法人利用について規定し、ソーシャルメディア統制体系の一部となるグループ規模の方針を策定するとともに、外部ソーシャルメディアの利用について事業ユニット毎に方針を決定した。

<訂正後>

ソーシャルメディアの規模が拡大し注目度が上がるにつれ、数々のリスクが生まれた。これらのリスクは、ブランドおよび評判に対するダメージ、情報の漏洩、規制要件の不遵守および統制リスク等である。ソーシャルメディア関連のリスクを管理するため、当グループは、外部ソーシャルメディアの利用について、グループ規模の方針を策定するとともに事業ユニット毎にも方針を決定した。これら方針は、ソーシャルメディアの事業利用および法人利用についての要件を規定し、またソーシャルメディア統制体系の一部となっている。

<環境リスク>

<訂正前>

環境リスクは、財務、業務または評判の価値が環境問題の影響で損なわれるリスクである。これは、当グループないし顧客の事業活動および業務から発生する。たとえば、当グループの顧客が汚染された資産を購入および売却した場合、または大規模なプロジェクトを開発した場合、これに関する環境問題によって信用、規制および評判リスクが発生するおそれがある。支店、オフィスまたはデータ処理センターにおける環境問題によっては、業務リスクおよび法的リスクが発生するおそれがある。

(後 略)

<訂正後>

環境リスクは、財務、業務または評判の価値が環境問題の影響で損なわれるリスクである。これは、当グループないし顧客の事業活動および業務から発生する。たとえば、当グループの顧客が汚染された資産を購入および売却した場合、または大規模なプロジェクトを開発した場合、これに関する環境問題によって信用、規制および評判リスクが発生するおそれがある。支店、オフィスまたはデータ処理センターにおける環境問題によっては、オペレーショナル・リスクおよび法的リスクが発生するおそれがある。

(後 略)

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

株主還元率の定義および測定

<訂正前>

(前 略)

財務業績目標 (表2)

	2014年の業績	達成
希薄化後1株当たり利益 (EPS) 7%超の増加	9.3%	<u>27</u> <u>13</u>
普通株主資本利益率 (ROE) 18%超の増加	19.0%	<u>27</u> <u>13</u>
高い自己資本比率 (CET 1) ⁽¹⁾	9.9%	<u>27</u> <u>13</u>
40% - 50%の配当性向	47%	<u>27</u> <u>13</u>

(1) CET 1 比率についての詳細は、「資本管理」の項を参照のこと。

(中略)

中期目標 - 競合グループの平均と比較した3年間および5年間におけるTSR (表3)

	3年間におけるTSR ⁽¹⁾	5年間におけるTSR ⁽¹⁾
ロイヤル・バンク・オブ・カナダ	23%	12%
	上位4分の2	上位4分の2
競合グループの平均 (RBCを除く。) ⁽²⁾	19%	8%

(1) 3年間および5年間の年平均TSRはそれぞれ、ブルームバーグL.P.により公表された情報に基づいた2011年10月31日から2014年10月31日までの期間および2009年10月31日から2014年10月31日までの期間における当グループの普通株式価格の上昇幅および同期間に再投資された配当金を用いて計算されている。

(後略)

<訂正後>

(前略)

財務業績目標 (表2)

	2014年の業績	達成の有無
希薄化後1株当たり利益 (EPS) 7%超の増加	9.3%	達成
普通株主資本利益率 (ROE) 18%超の増加	19.0%	達成
高い自己資本比率 (CET 1) ⁽¹⁾	9.9%	達成
40% - 50%の配当性向	47%	達成

(1) CET 1 比率についての詳細は、「資本管理」の項を参照のこと。

(中略)

中期目標 - 競合グループの平均と比較した3年間および5年間におけるTSR (表3)

	3年間におけるTSR ⁽¹⁾	5年間におけるTSR ⁽¹⁾
ロイヤル・バンク・オブ・カナダ	23%	12%
	上位4分の2	上位4分の2
競合グループの平均 (RBCを除く。)	19%	8%

- (1) 3年間および5年間の年平均TSRはそれぞれ、ブルームバーグL.P.により公表された情報に基づいた2011年10月31日から2014年10月31日までの期間および2009年10月31日から2014年10月31日までの期間における当グループの普通株式価格の上昇幅および同期間に再投資された配当金を用いて計算されている。

(後 略)

概観

< 訂正前 >

(前 略)

< 法人所得税およびその他の税金 >

(中 略)

< 2014年度と2013年度との比較 >

法人所得税費用は、主として主として税引前利益の増加により、前年度比601百万ドル増すなわち29%増となった。法人所得税の実効税率は、前年度までに關して214百万ドルの税金調整が行われるなど、前年度には有利な税金調整（純額）が含まれていたため、300bps増の23.1%となった。

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

< 法人所得税およびその他の税金 >

(中 略)

< 2014年度と2013年度との比較 >

法人所得税費用は、主として税引前利益の増加により、前年度比601百万ドル増すなわち29%増となった。法人所得税の実効税率は、前年度までに關して214百万ドルの税金調整が行われるなど、前年度には有利な税金調整（純額）が含まれていたため、300bps増の23.1%となった。

(後 略)

主要な業績および非GAAPによる測定

< 訂正前 >

(前 略)

インシュアランス (表15)

(単位：百万カナダドル(％の数値を除く。))	報告額	2013年	
		特定の個人 生命保険に 関する費用	調整後
収益合計	\$ 3,928	\$ -	\$ 3,928
PBCAE	2,784	(160)	2,624
利息以外の費用	551	-	551
税引前純利益	593	160	753
当期純利益	\$ 595	\$ 118	\$ 713
主要な収支の差額およびその他の情報			
普通株主に分配可能な純利益	\$ 586	\$ 118	\$ 704
平均普通株主資本	1,400		1,400
ROE ⁽¹⁾	41.4%		49.8%

(1) 四捨五入する前の実質残高に基づいている。

(後 略)

<訂正後>

(前 略)

インシュアランス (表15)

(単位：百万カナダドル(％の数値を除く。))	報告額	2014年	
		特定の個人 生命保険に 関する費用	調整後
収益合計	\$ 3,928	\$ -	\$ 3,928
PBCAE	2,784	(160)	2,624
利息以外の費用	551	-	551
税引前純利益	593	160	753
当期純利益	\$ 595	\$ 118	\$ 713
主要な収支の差額およびその他の情報			
普通株主に分配可能な純利益	\$ 586	\$ 118	\$ 704
平均普通株主資本	1,400		1,400
ROE ⁽¹⁾	41.4%		49.8%

(1) 四捨五入する前の実質残高に基づいている。

(後 略)

パーソナル&コマーシャル・バンキング

<訂正前>

(前 略)

銀行関係業務が競争を繰り広げるカナダの金融サービス業界は、その他のスケジュール 銀行、独立信託会社、外国銀行、信用組合、ケース・ポピュレールおよび自動車ローン会社により構成されている。この競争環境の中、当グループはリテール向けおよび企業向けのあらゆる金融商品カテゴリーにおいてトップクラス（第1位または第2位）の市場シェアを誇り、カナダ中に最大の支店ネットワーク、最多のATMおよび最大のモバイル販売ネットワークを有している。カリブ海地域においては、リテールおよび法人ならびに公的機関を顧客とする銀行、信託会社および投資運用会社と競合している。英国領カリブ海地域においては、18の国と地域に93の支店を有し、第2位の資産シェアを維持している。米国内においては、主に米国内で業務を行う他のカナダの金融機関と競争している。

（中 略）

2015年度の主要戦略優先事項

（中 略）

カリブ海地域および米国においては、以下に重点を置いている。

- ・ 主要な市場における質の高い資産の増加を重視し、費用構造を最適化し、信用リスクおよび業務リスクの実務を改善し、また主導的地位および能力を拡大することで、業務を強化すること。
- ・ 米国におけるクロス・ボーダー業務を強化し、市場および戦略的事業展開の可能性について評価を続けること。

（後 略）

<訂正後>

（前 略）

銀行関係業務が競争を繰り広げるカナダの金融サービス業界は、その他のスケジュール 銀行、独立信託会社、外国銀行、信用組合、庶民金庫および自動車ローン会社により構成されている。この競争環境の中、当グループはリテール向けおよび企業向けのあらゆる金融商品カテゴリーにおいてトップクラス（第1位または第2位）の市場シェアを誇り、カナダ中に最大の支店ネットワーク、最多のATMおよび最大のモバイル販売ネットワークを有している。カリブ海地域においては、リテールおよび法人ならびに公的機関を顧客とする銀行、信託会社および投資運用会社と競合している。英国領カリブ海地域においては、18の国と地域に93の支店を有し、第2位の資産シェアを維持している。米国内においては、主に米国内で業務を行う他のカナダの金融機関と競争している。

（中 略）

2015年度の主要戦略優先事項

（中 略）

カリブ海地域および米国においては、以下に重点を置いている。

- ・ 主要な市場における質の高い資産の増加を重視し、費用構造を最適化し、信用リスクおよびオペレーショナル・リスクの実務を改善し、また主導的地位および能力を拡大することで、業務を強化すること。
- ・ 米国におけるクロス・ボーダー業務を強化し、市場および戦略的事業展開の可能性について評価を続けること。

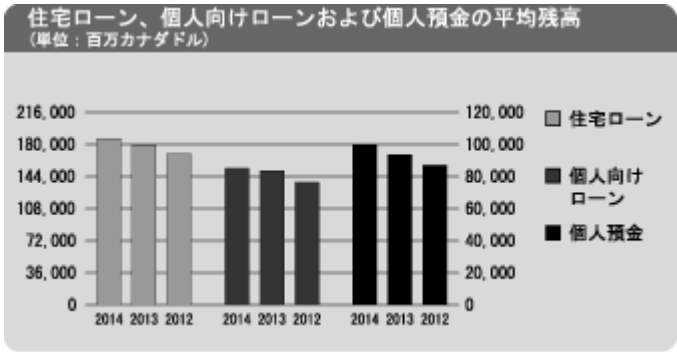
（ 後 略 ）

事業ライン別概観

パーソナル・フィナンシャル・サービス部門

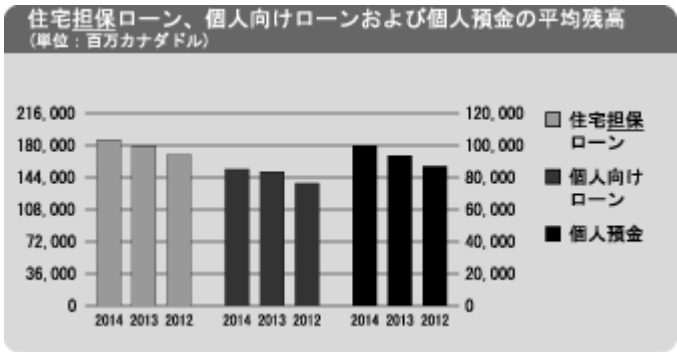
<訂正前>

（ 前 略 ）



<訂正後>

（ 前 略 ）



ウェルス・マネジメント

<訂正前>

（ 前 略 ）

< 概要 >

- ・ 資本増価および好調な純売上高により、当年度の顧客資産は1.1超ドルを大きく上回った。

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

< 概要 >

- ・ 資本増価および好調な純売上高により、当年度の顧客資産は1.1兆ドルを大きく上回った。

(後 略)

事業ライン別概観

インシュアランス

< 訂正前 >

(前 略)

< 財務業績 >

< 2014年度と2013年度との比較 >

当期純利益は、186百万ドル増すなわち31%増となった。カナダの税法改正により個人向け生命保険契約の一部の保険契約者の税務上の取扱いに影響が生じたことに伴う前年度の損失160百万ドル（税引後118百万ドル）を除くと、当期純利益は68百万ドル増すなわち10%増となった。これは主として、請求費用純額の減少、ヨーロッパの生命保険商品および英国の年金商品の業務拡大、ならびに経営行動および仮定条件の変化に伴う保険数理上の有利な調整によるものである。

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

< 財務業績 >

< 2014年度と2013年度との比較 >

当期純利益は、186百万ドル増すなわち31%増となった。カナダの税法改正により個人向け生命保険契約の一部の保険契約者の税務上の取扱いに影響が生じたことに伴う前年度の損失160百万ドル（税引後118百万ドル）を除くと、当期純利益は68百万ドル増すなわち10%増となった。これは主として、請求費用純額の減

少、ヨーロッパの生命保険商品および英国の年金商品の業務拡大、ならびに経営行動および仮定条件の変化に伴う保険数理上の有利な調整によるものである。さらに前年度の業績には、金利および資産関連業務がカナダの生命保険業務に与えたプラスの影響が含まれていた。

(後 略)

事業ライン別概観

キャピタル・マーケット

< 訂正前 >

(前 略)

北米においては、企業向けおよび投資銀行業務、エクイティおよびデット・オリジネーションならびに販売、ならびにストラクチャリングおよびトレーディング等、あらゆる商品およびサービスを提供している。北米以外では、英国およびヨーロッパならびにアジア太平洋の主要な地域においてプレゼンスを有しており、エネルギー、鉱業およびインフラ等の主要な専門分野において様々なサービスを提供している。現在はヨーロッパの工業、消費者および医療の分野に進出しつつある。

(中 略)

< 概要 >

(中 略)

- ・ 米国においては、企業向けおよび投資銀行業務を拡張するために近年行った主要な戦略的投資を引き続き活用した。オリジネーション重視を継続し、顧客重視の戦略から活動を活発化したことで貸出関係を良好にし、トレーディング業務は、特に債券信用、株式および地方債の市場において、市況の改善を生かした。当グループは事業の拡大を続け、AT&Tによる10億米ドルの債券新規発行において共同ブックランナーおよび単独スワップ・アレンジャーを務めるなど、複数の重要なマンドートを獲得した。

(中 略)

- ・ 各地域で成功を収めた結果、外部から業界トップとして認識され、次の賞を受賞した。
 - カナダ最優秀投資銀行 (ユーロマネー・マガジン) (7 年連続)
 - 2014 年の最初の 9 か月間、手数料において世界および米国の投資銀行上位 10 社にランクイン (ディーロジック)
 - 世界で最も信頼される投資銀行、および専門知識および技能において世界第 2 位 (エコノミスト)
 - 2014 年の最初の 9 か月間、金額において世界第 14 位の M&A ファイナンシャル・アドバイザー (ディーロジック)、前年同期の 18 位から上昇。

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

北米においては、企業向けおよび投資銀行業務、エクイティおよびデット・オリジネーションならびに販売、ならびにストラクチャリングおよびトレーディング等、あらゆる商品およびサービスを提供している。北米以外では、英国およびヨーロッパならびにアジア太平洋の主要な地域において有意なプレゼンスを有しており、エネルギー、鉱業およびインフラ等の主要な専門分野において様々なサービスを提供している。現在はヨーロッパの工業、消費者および医療の分野に進出しつつある。

(中 略)

< 概要 >

(中 略)

- ・ 米国においては、企業向けおよび投資銀行業務を拡張するために近年行った主要な戦略的投資を引き続き活用した。オリジネーション重視を継続し、顧客重視の戦略から活動を活発化したことで貸出関係を良好にし、トレーディング業務は、特に債券信用、株式および地方債の市場において、市況の改善に貢献した。当グループは事業の拡大を続け、AT&Tによる10億米ドルの債券新規発行において共同ブックランナーおよび単独スワップ・アレンジャーを務めるなど、複数の重要なマンドートを獲得した。

(中 略)

- ・ 各地域で成功を収めた結果、外部から業界トップとして認識され、次の賞を受賞した。
 - カナダ最優秀投資銀行 (ユーロマネー・マガジン) (7 年連続)
 - 2014 年の最初の 9 か月間、手数料において世界および米国の投資銀行上位 10 社にランクイン (ディールロジック)
 - 世界で最も信頼される投資銀行、および専門知識および技能において世界第 2 位 (エコノミスト)
 - 2014 年の最初の 9 か月間、金額において世界第 14 位の M&A ファイナンシャル・アドバイザー (ディールロジック)、前年同期の 18 位から上昇。

(後 略)

四半期財務情報

2014 年度第 4 四半期の業績

< 訂正前 >

(前 略)

< 2014年度第4四半期と2014年度第3四半期との比較 >

純利益は、前四半期比45百万ドル減すなわち2%減の2,333百万ドルとなった。これは、ウェルス・マネジメントにおける手数料ベースの平均顧客資産からの利益の増加を含む、リテール業務における収益の堅調な増加、前述の有利な累積会計調整（純額）、およびカナディアン・バンキングにおける手数料ベースの収益の増加が、前四半期は好調だった市況の悪化、FVA（調達評価調整）の実施、および前述の自己勘定トレーディング戦略の一部の終了を反映したトレーディング成績の悪化を下回ったためである。投資銀行業務の大半の業績が好調だった前四半期より悪化したこと、およびU.S. & インターナショナル・ウェルス・マネジメント事業に関して再編費用が発生したことも、この減少に寄与した。前四半期の業績は、RBCジャマイカの売却完了に関する損失40百万ドル（税引前および税引後）によって影響を受けていた。

< 訂正後 >

（前 略）

< 2014年度第4四半期と2014年度第3四半期との比較 >

純利益は、前四半期比45百万ドル減すなわち2%減の2,333百万ドルとなった。これは、ウェルス・マネジメントにおける手数料ベースの平均顧客資産からの利益の増加を含む、リテール業務における収益の堅調な増加、前述の有利な累積会計調整（純額）、およびカナディアン・バンキングにおける手数料ベースの収益の増加が、前四半期は好調だった市況の悪化、FVA（調達評価調整）の実施、および前述の自己勘定トレーディング戦略の一部の終了を反映したトレーディング成績の悪化を下回ったためである。投資銀行業務の大半の業績が好調だった前四半期より悪化したこと、およびUS & インターナショナル・ウェルス・マネジメント事業に関して再編費用が発生したことも、この減少に寄与した。前四半期の業績は、RBCジャマイカの売却完了に関する損失40百万ドル（税引前および税引後）によって影響を受けていた。

四半期の業績および動向分析

< 訂正前 >

（前 略）

< 季節性 >

季節的要因は、ほとんどの四半期において当グループの業績に影響を与える。第1四半期は、資本市場事業が季節的に好調になる。第2四半期は、その他の四半期より日数が少ないため、一般的に受取利息純額および一部の費目は少なくなる。第3四半期はヨーロッパの配当シーズンであるため、インベスター・サービスの業績は、証券貸付の増加により概してプラスの影響を受ける。第3および第4四半期は、市場活動が一般的に沈滞する傾向にある夏季を含むため、資本市場、仲買および投資運用業務の業績にマイナスの影響が生じる。

（後 略）

< 訂正後 >

(前 略)

<季節性>

季節的要因は、ほとんどの四半期において当グループの業績に影響を与える。第1四半期は、資本市場事業が季節的に好調になる。第2四半期は、その他の四半期より日数が少ないため、一般的に受取利息純額および一部の費目は少なくなる。第3四半期はヨーロッパの配当シーズンであるため、インベスター・サービスの業績は、証券貸付の増加により概してプラスの影響を受ける。第3および第4四半期は、市場活動が一般的に沈滞する傾向にある夏季を含むため、資本市場、仲介および投資運用業務の業績にマイナスの影響が生じる。

(後 略)

財政状態

<訂正前>

(前 略)

<2014年度と2013年度との比較>

(中 略)

預金は、510億ドル増すなわち9%増となった。これは主として、主に顧客活動が増加したこと、ならびに資金調達目的で定期債および担保付債券を発行したことで、企業預金が増加したことによるものである。外国為替換算の影響、ならびに個人向け業務における高利回りの預金およびその他の商品に対する需要の高まりも、この増加に寄与した。

(後 略)

<訂正後>

(前 略)

<2014年度と2013年度との比較>

(中 略)

預金は、510億ドル増すなわち9%増となった。これは主として、主に顧客活動が増加したこと、ならびに資金調達目的で定期債およびカバード・ボンドを発行したことで、企業預金が増加したことによるものである。外国為替換算の影響、ならびに個人向け業務における高利回りの預金およびその他の商品に対する需要の高まりも、この増加に寄与した。

(後 略)

オフバランス処理

< 訂正前 >

当グループは、通常の営業過程において、会計上の目的のため連結貸借対照表に計上されない様々な金融取引を行っている。オフバランス取引は、通常、当グループおよび当グループの顧客の利益のために、リスク管理、資本管理および資金管理の目的で行われる。これらには、ストラクチャード・エンティティとの取引が含まれ、信用保証の授与が含まれることもある。これらの取引は、その他のリスクの中でもとりわけ「リスク管理」の項に記載されている様々な市場、信用、流動性および資金調達リスクの発生につながる。

当グループは、金融資産を証券化し、また顧客がその金融資産を証券化する際の支援として、ストラクチャード・エンティティを活用している。これらの事業体は事業会社ではなく、通常は従業員も有さず、当グループの連結貸借対照表への記録は任意である。

< 金融資産の証券化 >

(中 略)

証券化活動の大部分は、連結貸借対照表に計上されている。当グループは、クレジットカード債権を、連結ストラクチャード・エンティティを通じてリボルビング・ベースで証券化している。単身および家族住宅担保ローンは国民住宅法モーゲージ担保証券（NHA MBS）プログラムに基づいて証券化し、連結貸借対照表における認識を中止しない。これらの活動についての詳細は、2014年度連結財務諸表に対する注記 6 および注記 7 を参照のこと。

(中 略)

また当グループでは、分散効果、レバレッジおよび債務回収率等一定の基準を満たした担保プールによってストラクチャード・エンティティ（うち一つは当グループの出資による。）に売却することで、商業用不動産担保ローンを定期的に証券化している商業用不動産担保ローンを証券化すると、証券化された資産の所有にかかるほぼすべてのリスクと経済価値が移転するため、連結貸借対照表における認識は中止される。移転された資産に対する当グループの継続的関与は、当グループが出資するストラクチャード・エンティティに売却した商業用不動産担保ローンのサービシングに限定される。2014年10月31日現在、これらの証券化活動に関しては、商業用不動産担保ローンが13億ドル（2013年10月31日現在は13億ドル）残っていた。2014年度中、当グループが出資する事業体に売却した商業用不動産担保ローンを173百万ドル証券化した（2013年度は0ドル）。

(中 略)

< 非連結ストラクチャード・エンティティへの関与 >

当グループは、顧客の金融資産の証券化、投資商品の作成およびその他のストラクチャード・ファイナンス等、顧客の資金調達需要および投資ニーズに応えるため、通常の営業過程でストラクチャード・エンティティとの多様な金融取引を行っている。

(中 略)

以下は、特定の重要な非連結ストラクチャード・エンティティへの関与に関する記述である。連結および非連結ストラクチャード・エンティティに対する当グループの持分についての詳細は、2014年度連結財務諸表に対する注記7を参照のこと。

(中 略)

ストラクチャード・ファイナンス

(中 略)

当グループは当年度中、シニア・ウェアハウス・レンダーならびにストラクチャリングおよび募集代理人として、ローン担保証券市場に参入した。当グループは現在、第三者が融資を受け、定期ローン担保証券を発行するために設立した個別の非関連ストラクチャード・エンティティに対して、シニア・ウェアハウス・ファイナンスを行っている。定期ローン担保証券の売却益の一部は、当グループが提供するシニア・ウェアハウス・ファイナンスの完済に充てられる。2014年10月31日現在、当年度中に行ったかかるローンは、すべて返済されている。

(中 略)

第三者証券化ビークル

当グループは、ストラクチャード・エンティティである非連結第三者証券化ビークルに、持分を有している。当グループは、他の金融機関と同様、これらの事業体に対して、最大コミットメントを上限に資金提供を行う義務を有し、様々な信用補完を行った上で、対象となる資産の貸倒リスクを負う。2014年10月31日現在、これらの事業体に対する最大損失エクスポージャーは24億ドル（2013年10月31日現在は22億ドル）であった。最大エクスポージャーが前年度より増加したのは、資産の追加証券化および為替の変動によるものである。これらの投資に関連して計上される受取利息および利息以外の収益は、20百万ドル（2013年度は26百万ドル）であった。

(後 略)

<訂正後>

当グループは、通常の営業過程において、会計上の目的のため連結貸借対照表に計上されない様々な金融取引を行っている。オフバランス取引は、通常、当グループおよび当グループの顧客の利益のために、リスク管理、資本管理および資金管理の目的で行われる。これらには、組成された企業との取引が含まれ、信用保証の授与が含まれることもある。これらの取引は、その他のリスクの中でもとりわけ「リスク管理」の項に記載されている様々な市場、信用、流動性および資金調達リスクの発生につながる。

当グループは、金融資産を証券化し、また顧客がその金融資産を証券化する際の支援として、組成された企業を活用している。これらの事業体は事業会社ではなく、通常は従業員も有さず、当グループの連結貸借対照表への記録は任意である。

< 金融資産の証券化 >

(中 略)

証券化活動の大部分は、連結貸借対照表に計上されている。当グループは、クレジットカード債権を、連結している組成された企業を通じてリボルビング・ベースで証券化している。単身および家族住宅担保ローンは国民住宅法モーゲージ担保证券（NHA MBS）プログラムに基づいて証券化し、連結貸借対照表における認識を中止しない。これらの活動についての詳細は、2014年度連結財務諸表に対する注記 6 および注記 7 を参照のこと。

(中 略)

また当グループでは、分散効果、レバレッジおよび債務回収率等一定の基準を満たした担保プールによって組成された企業（うち一つは当グループの出資による。）に売却することで、商業用不動産担保ローンを定期的に証券化している商業用不動産担保ローンを証券化すると、証券化された資産の所有にかかるほぼすべてのリスクと経済価値が移転するため、連結貸借対照表における認識は中止される。移転された資産に対する当グループの継続的関与は、当グループが出資する組成された企業に売却した商業用不動産担保ローンのサービシングに限定される。2014年10月31日現在、これらの証券化活動に関しては、商業用不動産担保ローンが13億ドル（2013年10月31日現在は13億ドル）残っていた。2014年度中、当グループが出資する事業体に売却した商業用不動産担保ローンを173百万ドル証券化した（2013年度は0ドル）。

(中 略)

< 非連結の組成された企業への関与 >

当グループは、顧客の金融資産の証券化、投資商品の作成およびその他のストラクチャード・ファイナンス等、顧客の資金調達需要および投資ニーズに応えるため、通常の営業過程で組成された企業との多様な金融取引を行っている。

(中 略)

以下は、特定の重要な非連結の組成された企業への関与に関する記述である。連結および非連結の組成された企業に対する当グループの持分についての詳細は、2014年度連結財務諸表に対する注記 7 を参照のこと。

(中 略)

ストラクチャード・ファイナンス

(中 略)

当グループは当年度中、シニア・ウェアハウス・レンダーならびにストラクチャリングおよび募集代理人として、ローン担保证券市場に参入した。当グループは現在、第三者が融資を受け、定期ローン担保证券を

発行するために設立した個別の非関連の組成された企業に対して、シニア・ウェアハウス・ファイナンス・グループを行っている。定期ローン担保証券の売却益の一部は、当グループが提供するシニア・ウェアハウス・ファイナンスの完済に充てられる。2014年10月31日現在、当年度中に行ったかかるローンは、すべて返済されている。

(中 略)

第三者証券化ビークル

当グループは、組成された企業である非連結第三者証券化ビークルに、持分を有している。当グループは、他の金融機関と同様、これらの事業体に対して、最大コミットメントを上限に資金提供を行う義務を有し、様々な信用補完を行った上で、対象となる資産の貸倒リスクを負う。2014年10月31日現在、これらの事業体に対する最大損失エクスポージャーは24億ドル（2013年10月31日現在は22億ドル）であった。最大エクスポージャーが前年度より増加したのは、資産の追加証券化および為替の変動によるものである。これらの投資に関連して計上される受取利息および利息以外の収益は、20百万ドル（2013年度は26百万ドル）であった。

(後 略)

リスク管理

概要

< 訂正前 >

(前 略)

< 成果 >

(中 略)

- ・ 利益に影響を有する業務リスク発生事由を少なく抑えた。

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

< 成果 >

(中 略)

- ・ 利益に影響を有するオペレーショナル・リスク発生事由を少なく抑えた。

(後 略)

グループ・リスク管理

< 訂正前 >

(前 略)

< リスク選好 >

(中 略)

2. 望ましい収益を生み出すために当グループが引き受けなければならないリスクを含む事業目的である要因、および引き受けるリスクの金額を制限しまたはこれに影響を与える自主制約によって構成されるリスク選好を設定し、定期的に確認する。当グループの自主制約には、以下が含まれる。

- ・ 安定した収益を維持すること。
- ・ リスクの過度な集中を回避すること。
- ・ ストレス事由に対する低いエクスポージャーを維持すること。
- ・ 規制コンプライアンス・リスクおよび業務リスクの健全な管理を維持すること。

(中 略)

< リスク測定 >

(中 略)

ストレス・テスト

(中 略)

グループ規模の分析を補完およびサポートするものとして、市場リスク、流動性リスク、構造的金利リスク、リテールおよびホールセール信用リスク、業務リスクおよび保険リスク等、個々のリスクタイプについてのストレス・テストおよびシナリオ分析を行っている。リスク別のプログラムの結果は、リスク制限の設定、ポートフォリオの構成の評価、および事業戦略の実施等、様々な意思決定プロセスに活用される。これらのプログラムについての詳細は、「市場リスク」および「流動性および資金調達リスク」の各項を参照のこと。

(中 略)

権限および制限

(中 略)

取締役会は、流動性リスクに関する権限を、総裁兼CEO、CAO兼CFOおよびCROに委任する。これらの制限によって主要なリスクを統制することで、現在および将来のコミットメントを満たすために、信頼できかつ費用効率のよいキャッシュおよび同等物の供給源を確保することができる。

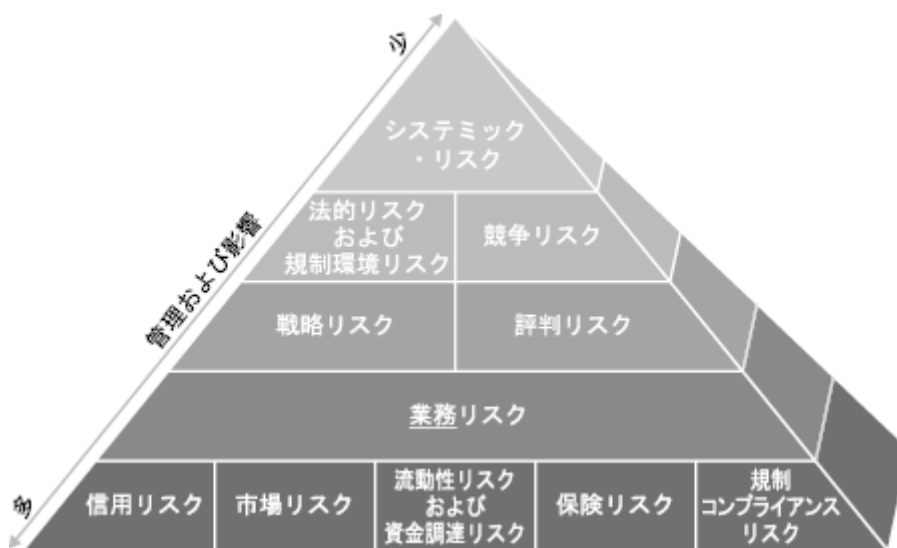
(中 略)

<リスク・ピラミッド>

(中 略)

ピラミッドの最下層 - リスク・ピラミッドの最下層のリスク・カテゴリーは、当グループが最も確実に統制でき、かつ、影響力を有する、信用、市場、流動性および資金調達、保険ならびに規制コンプライアンス・リスクである。業務リスクについては、当グループが最も確実に統制し、かつ、影響力を有するとみなされてはいるものの、他の容易に統制可能なリスクより上の層に位置付けられている。この位置づけは、人材、システムおよび外的事象に関連する統制可能性のレベルによるものである。

(中 略)



(後 略)

<訂正後>

(前 略)

<リスク選好>

(中 略)

2. 望ましい収益を生み出すために当グループが引き受けなければならないリスクを含む事業目的である要因、および引き受けるリスクの金額を制限しまたはこれに影響を与える自主制約によって構成されるリスク選好を設定し、定期的に確認する。当グループの自主制約には、以下が含まれる。

- ・ 安定した収益を維持すること。
- ・ リスクの過度な集中を回避すること。
- ・ ストレス事由に対する低いエクスポージャーを維持すること。
- ・ 規制コンプライアンス・リスクおよびオペレーショナル・リスクの健全な管理を維持すること。

(中 略)

ストレス・テスト

(中 略)

グループ規模の分析を補完およびサポートするものとして、市場リスク、流動性リスク、構造的金利リスク、リテールおよびホールセール信用リスク、オペレーショナル・リスクおよび保険リスク等、個々のリスクタイプについてのストレス・テストおよびシナリオ分析を行っている。リスク別のプログラムの結果は、リスク制限の設定、ポートフォリオの構成の評価、および事業戦略の実施等、様々な意思決定プロセスに活用される。これらのプログラムについての詳細は、「市場リスク」および「流動性および資金調達リスク」の各項を参照のこと。

(中 略)

権限および制限

(中 略)

取締役会は、流動性リスクに関する権限を、総裁兼CEO、CAO兼CFOおよびCROに委任する。これらの制限によって主要なリスクを統制することで、現在および将来のコミットメントを満たすために、信頼できかつ費用効率のよい現金および同等物の供給源を確保することができる。

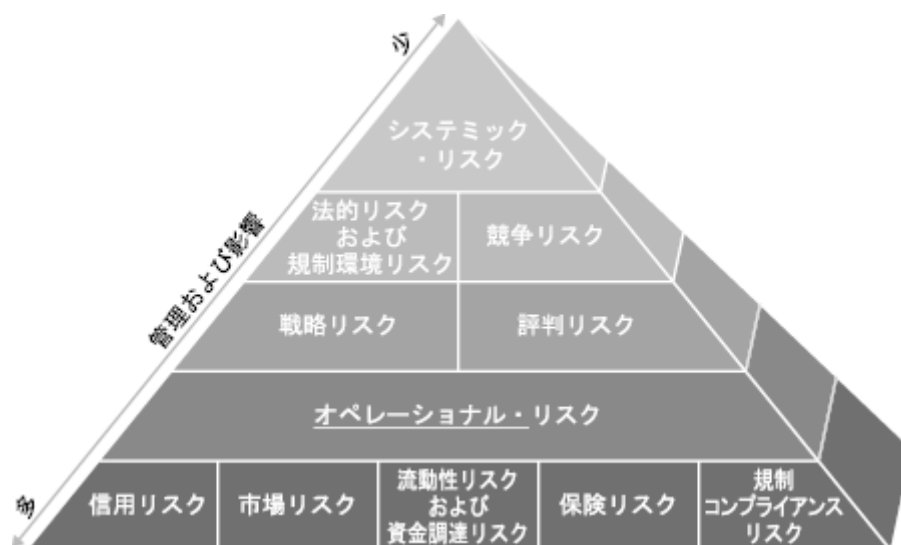
(中 略)

<リスク・ピラミッド>

(中 略)

ピラミッドの最下層 - リスク・ピラミッドの最下層のリスク・カテゴリーは、当グループが最も確実に統制でき、かつ、影響力を有する、信用、市場、流動性および資金調達、保険ならびに規制コンプライアンス・リスクである。オペレーショナル・リスクについては、当グループが最も確実に統制し、かつ、影響力を有するとみなされてはいるものの、他の容易に統制可能なリスクより上の層に位置付けられている。この位置づけは、人材、システムおよび外的事象に関連する統制可能性のレベルによるものである。

(中 略)



(後 略)

信用リスク

<訂正前>

(前 略)

ヨーロッパに係る地域別正味エクスポージャー⁽¹⁾

(表46)

(単位：百万カナダドル)	2014年10月31日現在					2013年
	貸出金残高	有価証券	レボ取引	デリバティブ	合計	10月31日現在 合計
英国	\$ 9,428	\$ 12,486	\$ 874	\$ 1,245	\$ 24,033	\$ 17,515
ドイツ	914	8,602	36	620	10,172	8,270
フランス	569	3,176	50	489	4,284	3,856
英国、ドイツ、フランス合計	\$ 10,911	\$ 24,264	\$ 960	\$ 2,354	\$ 38,489	\$ 29,641
ギリシャ	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -
アイルランド	619	104	8	152	883	174
イタリア	26	67	-	57	150	325
ポルトガル	9	-	-	-	9	6
スペイン	350	105	-	21	476	491
周辺国合計⁽²⁾	\$ 1,004	\$ 276	\$ 8	\$ 230	\$ 1,518	\$ 996
ルクセンブルグ	\$ 524	\$ 1,136	\$ 2	\$ 247	\$ 1,909	\$ 5,666
オランダ	882	2,893	20	465	4,260	2,861
ノルウェー	369	2,613	-	29	3,011	2,925
スウェーデン	13	2,658	60	-	2,731	2,831
スイス	502	2,890	54	111	3,557	3,094
その他	1,143	1,657	11	134	2,945	2,459
その他ヨーロッパ諸国合計	\$ 3,433	\$ 13,847	\$ 147	\$ 986	\$ 18,413	\$ 19,836
ヨーロッパに対するエクスポージャー合計	\$ 15,348	\$ 38,387	\$ 1,115	\$ 3,570	\$ 58,420	\$ 50,473

- (1) 地理的分布は国のリスクを基準としており、これは当グループによる当該エクスポージャーに関する地理的リスクの評価を反映している。通常、これは債務者の居住地である。
- (2) ヨーロッパ周辺国に対する信用リスク・グロスエクスポージャーは、ギリシャに対する 0 ドル（2013年は 0 ドル）、アイルランドに対する 25 億ドル（2013年は 15 億ドル）、イタリアに対する 2 億ドル（2013年は 3 億ドル）、ポルトガルに対する 0 ドル（2013年は 1 億ドル）およびスペインに対する 9 億ドル（2013年は 9 億ドル）からなる。

（後 略）

<訂正後>

（前 略）

ヨーロッパに係る国別正味エクスポージャー⁽¹⁾

（表46）

（単位：百万カナダドル）	2014年10月31日現在					2013年 10月31日現在	
	貸出金残高	有価証券	レポ取引	デリバティブ	合計	合計	
英国	\$ 9,428	\$ 12,486	\$ 874	\$ 1,245	\$ 24,033	\$ 17,515	
ドイツ	914	8,602	36	620	10,172	8,270	
フランス	569	3,176	50	489	4,284	3,856	
英国、ドイツ、フランス合計	\$ 10,911	\$ 24,264	\$ 960	\$ 2,354	\$ 38,489	\$ 29,641	
ギリシャ	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	
アイルランド	619	104	8	152	883	174	
イタリア	26	67	-	57	150	325	
ポルトガル	9	-	-	-	9	6	
スペイン	350	105	-	21	476	491	
周辺国合計⁽²⁾	\$ 1,004	\$ 276	\$ 8	\$ 230	\$ 1,518	\$ 996	
ルクセンブルグ	\$ 524	\$ 1,136	\$ 2	\$ 247	\$ 1,909	\$ 5,666	
オランダ	882	2,893	20	465	4,260	2,861	
ノルウェー	369	2,613	-	29	3,011	2,925	
スウェーデン	13	2,658	60	-	2,731	2,831	
スイス	502	2,890	54	111	3,557	3,094	
その他	1,143	1,657	11	134	2,945	2,459	
その他ヨーロッパ諸国合計	\$ 3,433	\$ 13,847	\$ 147	\$ 986	\$ 18,413	\$ 19,836	
ヨーロッパに対するエクスポージャー合計	\$ 15,348	\$ 38,387	\$ 1,115	\$ 3,570	\$ 58,420	\$ 50,473	

- (1) 地理的分布は国のリスクを基準としており、これは当グループによる当該エクスポージャーに関する地理的リスクの評価を反映している。通常、これは債務者の居住地である。
- (2) ヨーロッパ周辺国に対する信用リスク・グロスエクスポージャーは、ギリシャに対する 0 ドル（2013年は 0 ドル）、アイルランドに対する 25 億ドル（2013年は 15 億ドル）、イタリアに対する 2 億ドル（2013年は 3 億ドル）、ポルトガルに対する 0 ドル（2013年は 1 億ドル）およびスペインに対する 9 億ドル（2013年は 9 億ドル）からなる。

（後 略）

市場リスク

<訂正前>

（前 略）

< 市場リスクの測定 - その他の重要な非トレーディング・ポートフォリオ >

< 売却可能 (AFS) 有価証券 >

当グループは、2014年10月31日現在、AFSに分類された有価証券を460億ドル保有していた（2013年10月31日現在380億ドル）。当グループは、主に投資として、また非トレーディング目的の銀行活動における金利リスクを管理するために、AFSに指定された有価証券を保有している。レガシー・ローン・ポートフォリオの一部も、AFSに分類されている。当グループは、2014年10月31日現在、AFS有価証券のポートフォリオにより、税引前損失にして6.9百万ドルの金利リスク（イールドカーブが1bp平行に上昇したことに対する当該有価証券の価値変動で測定される。）を有している。また同ポートフォリオにより、税引前損失にして11.2百万ドルの信用スプレッド・リスク（信用スプレッドを拡大させる1bpの価値変動で測定される。）も有している。これらの有価証券の価値変動は、その他の包括利益に計上される。また売却可能有価証券には、2014年10月31日現在、前年度と変わらず17億ドルの株式投資が含まれている。

（後 略）

< 訂正後 >

（前 略）

< 市場リスクの測定 - その他の重要な非トレーディング・ポートフォリオ >

< 売却可能 (AFS) 有価証券 >

当グループは、2014年10月31日現在、AFSに分類された有価証券を460億ドル保有していた（2013年10月31日現在380億ドル）。当グループは、主に投資として、また非トレーディング目的の銀行活動における金利リスクを管理するために、AFSに指定された債券を保有している。レガシー・ローン・ポートフォリオの一部も、AFSに分類されている。当グループは、2014年10月31日現在、AFS有価証券のポートフォリオにより、税引前損失にして6.9百万ドルの金利リスク（イールドカーブが1bp平行に上昇したことに対する当該有価証券の価値変動で測定される。）を有している。また同ポートフォリオにより、税引前損失にして11.2百万ドルの信用スプレッド・リスク（信用スプレッドを拡大させる1bpの価値変動で測定される。）も有している。これらの有価証券の価値変動は、その他の包括利益に計上される。また売却可能有価証券には、2014年10月31日現在、前年度と変わらず17億ドルの株式投資が含まれている。

（後 略）

流動性および資金調達リスク

< 訂正前 >

（前 略）

< 資金調達 >

（中 略）

預金構造

2014年度中、当グループはコア預金基盤の構築も続けた。リレーションシップ・ベースの預金は、個人預金フランチャイズならびに商業および機関顧客グループを含み、変動の少ない残高を維持する、主要な信頼できる資金源である。預金保険および時に当グループとの排他的関係を反映して、これらの残高は、他の取引貸出銀行および投資家からの残高よりも市場の変化に対する反応性が低いため、ほとんどの状況において非常に安定したコア預金の供給源となる。コア預金は、（需要、通知および期限付き）リレーションシップ・ベース残高総額の非常に安定した部分ならびに満期が1年超のホールセール資金に関する統計的流動性調整予測からなり、2014年10月31日現在、預金総額に占める割合は69%（2013年度は70%）となった。前年度中、当グループの預金総額の増加におおむね対応して、コア預金の残高は10%増加した。コア預金の増加は、主としてリレーションシップ・ベース預金の増加および（それより割合は小さいが）長期ホールセール資金調達の実行によりもたらされたものである。当グループのリレーションシップ・ベースの預金およびホールセール資金調達の満期日についての詳細は、「リスク特性」の項および下表「ホールセール資金調達の構成」を参照のこと。

（中 略）

当グループは、代替資金源として、ならびに流動性および資産／負債の管理目的で、住宅担保ローンならびにクレジットカードおよび自動車ローン担保証券化プログラムを利用している。当グループ全体の担保付長期資金調達には、売却したMBSの残高、住宅担保ローンを担保とする担保付債券ならびにクレジットカードおよび自動車ローンが含まれる。

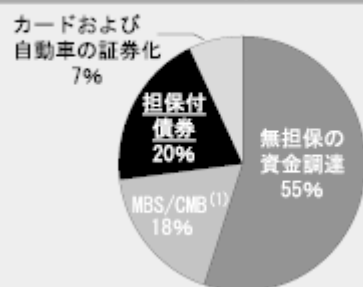
2013年度と比較すると、売却したMBSの残高は70億ドル減少し、担保付債券ならびにクレジットカードおよび自動車ローンはそれぞれ50億ドルおよび10億ドル増加した。

（中 略）

地理別プログラム			（表60）
カナダ	米国	ヨーロッパ／アジア	
・カナダにおける発行登録 - 150億ドル	・SEC記名公債 - 250億米ドル	・ヨーロッパ債券発行プログラム - 400億米ドル	
	・SEC記名公債担保付債券 - 120億米ドル	・担保付債券プログラム - 230億ユーロ	
		・日本における発行プログラム - 1兆円	

当グループは、カナダ預金証書、カナダNHA MBS、カナダ担保付債券、クレジットカード債権担保証券、カンガルー債（オーストラリア国内市場で外国企業により発行されたもの）およびヤンキー預金証書（米国国内市場で外国企業により発行されたもの）を使用して長期的な資金調達を行っている。当グループは、新たな市場および未開発の投資セグメントへの進出について、相対的な発行費用に照らして常に評価を行っている。これは、そのような拡大によってホールセール資金調達の柔軟性が増す上、資金源の集中および依存を最小限に抑え、全体的な調達費用を削減することができるからである。下図に示すとおり、当グループの現在の長期負債の構成は、通貨別および長期資金調達商品のタイプ別に、十分に分散されている。競争力の高い信用格付を維持することも、費用効率の高い資金調達に不可欠である。

長期債－商品別の資金調達構成
(2014年10月31日現在：1,283億ドル)



(中 略)

ホールセール資金調達の内訳⁽¹⁾

(表61)

	2014年10月31日現在							
(単位：百万カナダドル)	1ヶ月未満	1 - 3ヶ月	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1年未満 小計	1 - 2年	2年以上	合計
銀行からの預金 ⁽²⁾	\$ 3,034	\$ 277	\$ 11	\$ 19	\$ 3,341	\$ -	\$ -	\$ 3,341
譲渡性預金証書および コマーシャル・ペーパー	859	4,411	10,880	12,873	29,023	2,746	-	31,769
資産担保コマーシャル・ ペーパー ⁽³⁾	518	1,320	1,835	4,114	7,787	-	-	7,787
無担保上位メディアムターム ノート ⁽⁴⁾	592	4,573	3,341	3,970	12,476	16,809	38,254	67,539
無担保上位仕組債 ⁽⁵⁾	336	578	458	1,058	2,430	597	4,729	7,756
証券化されたモーゲージ	58	699	950	1,435	3,142	3,751	16,395	23,288
担保付債券 / 資産担保証券 ⁽⁶⁾	761	22	2,391	2,635	5,809	6,934	20,246	32,989
劣後負債	200	-	-	1,500	1,700	1,500	4,632	7,832
その他 ⁽⁷⁾	3,203	51	596	1,111	4,961	42	3,963	8,966
合計	\$ 9,561	\$ 11,931	\$ 20,462	\$ 28,715	\$ 70,669	\$ 32,379	\$ 88,219	\$ 191,267
内訳								
- 担保付	\$ 4,455	\$ 2,041	\$ 5,176	\$ 8,184	\$ 19,856	\$ 10,685	\$ 36,641	\$ 67,182
- 無担保	5,106	9,890	15,286	20,531	50,813	21,694	51,578	124,085

	2013年10月31日現在							
(単位：百万カナダドル)	1ヶ月未満	1 - 3ヶ月	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1年未満 小計	1 - 2年	2年以上	合計
銀行からの預金 ⁽²⁾	\$ 1,820	\$ 164	\$ 10	\$ 354	\$ 2,348	\$ -	\$ -	\$ 2,348
譲渡性預金証書および コマーシャル・ペーパー	549	3,350	17,122	9,969	30,990	2,088	624	33,702
資産担保コマーシャル・ ペーパー ⁽³⁾	-	626	1,586	1,717	3,929	-	-	3,929
無担保上位メディアムターム ノート ⁽⁴⁾	-	2,333	3,162	4,608	10,103	9,771	35,670	55,544
無担保上位仕組債 ⁽⁵⁾	274	283	565	808	1,930	828	3,131	5,889
証券化されたモーゲージ	758	2,477	4,078	2,040	9,353	2,845	18,251	30,449
担保付債券 / 資産担保証券 ⁽⁶⁾	54	94	132	213	493	6,007	21,761	28,261
劣後負債	1,000	-	-	600	1,600	1,700	4,121	7,421
その他 ⁽⁷⁾	4,401	55	163	1,148	5,767	-	3,390	9,157
合計	\$ 8,856	\$ 9,382	\$ 26,818	\$ 21,457	\$ 66,513	\$ 23,239	\$ 86,948	\$ 176,700

内訳								
- 担保付	\$ 5,040	\$ 3,197	\$ 5,796	\$ 3,970	\$ 18,003	\$ 8,852	\$ 40,011	\$ 66,866
- 無担保	3,816	6,185	21,022	17,487	48,510	14,387	46,937	109,834

- (1) 銀行引受手形を除く。
- (2) 財務により集められた預金のみを含む。これらの銀行に対して当グループが提供するサービス（証券保管、現金管理等）に関連する預金を除く。
- (3) 連結負債のみを含み、当グループの担保付コマーシャル・ペーパープログラムを含む。
- (4) 預金証書を含む。
- (5) 外国為替、商品および株式の値動きに連動する配当のある債券を含む。
- (6) クレジットカード、自動車およびモーゲージを含む。
- (7) テンダーオプション・ボンド（担保付）3,118百万ドル（2013年10月31日現在は4,227百万ドル）、無記名式預金証書（無担保）2,215百万ドル（2013年10月31日現在は1,540百万ドル）およびその他長期仕組預金（無担保）3,633百万ドル（2013年10月31日現在は3,390百万ドル）を含む。

（中 略）

金融資産、金融負債およびオフバランス・シート項目における契約上の満期予定

（表62）

2014年10月31日現在										
（単位：百万カナダドル）	1ヶ月未満	1 - 3ヶ月	3 - 6ヶ月	6 - 9ヶ月	9 - 12ヶ月	1 - 2年	2 - 5年	5年以上	満期日の定めなし	合計
資産										
現金および預け金	\$ 22,871	\$ 218	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 2,731	\$ 25,820
有価証券										
トレーディング ⁽¹⁾	94,025	13	65	55	48	229	558	5,236	51,151	151,380
売却可能	4,450	3,739	2,528	433	1,113	3,417	18,307	11,959	1,822	47,768
売却し条件付購入資産および借入有価証券担保金	54,860	24,728	28,241	8,261	10,361	2,142	-	-	6,987	135,580
貸出金（貸倒引当金控除後）	19,260	10,776	7,490	14,961	16,081	73,788	176,063	29,787	87,023	435,229
その他										
手形引受戻	6,218	2,013	399	433	2,393	-	6	-	-	11,462
デリバティブ	4,145	7,275	3,483	2,673	1,909	8,507	21,331	38,071	8	87,402
その他の金融資産	18,729	672	585	169	106	245	281	828	828	22,443
金融資産合計	\$ 224,558	\$ 49,434	\$ 42,791	\$ 26,985	\$ 32,011	\$ 88,328	\$ 216,546	\$ 85,881	\$ 150,550	\$ 917,084
その他の金融資産以外の資産	1,847	779	679	409	52	589	1,637	2,302	15,172	23,466
資産合計	\$ 226,405	\$ 50,213	\$ 43,470	\$ 27,394	\$ 32,063	\$ 88,917	\$ 218,183	\$ 88,183	\$ 165,722	\$ 940,550
負債および資本										
預金 ⁽²⁾										
無担保借入金	\$ 31,190	\$ 22,626	\$ 27,372	\$ 18,602	\$ 21,581	\$ 39,693	\$ 49,523	\$ 9,727	\$ 310,045	\$ 530,359
担保付借入金	561	2,715	2,950	5,331	4,786	9,753	21,099	10,135	-	57,330
担保付債券	748	-	2,558	-	-	4,908	14,556	3,641	-	26,411
その他										
手形引受け	6,218	2,013	399	433	2,393	-	6	-	-	11,462
空売りした有価証券に関連する債務	50,345	-	-	-	-	-	-	-	-	50,345
買戻し条件付売却資産および貸付有価証券に関連する債務	58,208	1,252	1,306	1,051	574	-	-	-	1,940	64,331
デリバティブ	3,745	6,997	3,845	3,351	2,042	10,345	22,295	36,359	3	88,982
その他の金融負債	18,094	1,121	492	170	298	309	530	4,033	357	25,404
劣後無担保社債	200	-	-	-	-	-	-	7,659	-	7,859
金融負債合計	\$ 169,309	\$ 36,724	\$ 38,922	\$ 28,938	\$ 31,674	\$ 65,008	\$ 108,009	\$ 71,554	\$ 312,345	\$ 862,483
その他の金融負債以外の負債	1,454	2,970	674	57	78	917	2,456	7,956	7,002	23,564
資本	-	-	-	-	-	-	-	-	54,503	54,503
負債および資本合計	\$ 170,763	\$ 39,694	\$ 39,596	\$ 28,995	\$ 31,752	\$ 65,925	\$ 110,465	\$ 79,510	\$ 373,850	\$ 940,550
オフバランス・シート項目										
金融保証	\$ 646	\$ 2,391	\$ 2,289	\$ 1,982	\$ 2,970	\$ 1,325	\$ 5,292	\$ 254	\$ 59	\$ 17,208
リース・コミットメント	58	114	167	165	161	634	1,220	1,291	-	3,810
信用供与予約	1,660	6,352	7,329	6,806	8,513	19,768	108,250	11,539	2,299	172,516
その他のコミットメント	127	420	575	879	2,578	289	984	263	62,319	68,434
オフバランス・シート項目合計	\$ 2,491	\$ 9,277	\$ 10,360	\$ 9,832	\$ 14,222	\$ 22,016	\$ 115,746	\$ 13,347	\$ 64,677	\$ 261,968

- (1) 純損益を通じて公正価値で分類されるトレーディング目的の債務証券は、満期保有の見込みがないため1ヶ月未満の欄に含まれる。
- (2) 取引関係に基づく預金の大部分は、要求に応じてまたは契約に基づく直前の通知によって払い戻されるが、実際には、前述「預金構造」の項で説明されているように、かかる顧客残高が当グループの業務および流動性ニーズに対するコアベースを形成している。

2013年10月31日現在										
（単位：百万カナダドル）	1ヶ月未満	1 - 3ヶ月	3 - 6ヶ月	6 - 9ヶ月	9 - 12ヶ月	1 - 2年	2 - 5年	5年以上	満期日の定めなし	合計

資産											
現金および預け金	\$ 12,989	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 11,600	\$ 24,589	
有価証券											
トレーディング ⁽¹⁾	93,407	40	19	40	38	249	534	4,507	45,189	144,023	
売却可能	3,420	4,641	1,268	796	1,116	2,452	10,021	13,140	1,833	38,687	
売戻し条件付購入資産および借入有価証券担保金 ⁽²⁾	59,226	10,653	18,506	6,268	10,207	1,543	-	-	11,114	117,517	
貸出金（貸倒引当金控除後） ⁽²⁾	14,489	9,689	6,136	10,459	19,614	45,686	181,766	30,918	90,093	408,850	
その他											
手形引受見返	5,224	1,621	470	254	2,384	-	-	-	-	9,953	
デリバティブ	2,349	5,028	2,338	2,353	1,627	6,284	21,056	33,786	1	74,822	
その他の金融資産	16,082	847	754	114	122	270	447	639	575	19,850	
金融資産合計	\$ 207,186	\$ 32,519	\$ 29,491	\$ 20,284	\$ 35,108	\$ 56,484	\$ 213,824	\$ 82,990	\$ 160,405	\$ 838,291	
その他の金融資産以外の資産	1,273	453	311	147	741	406	1,341	2,227	14,555	21,454	
資産合計	\$ 208,459	\$ 32,972	\$ 29,802	\$ 20,431	\$ 35,849	\$ 56,890	\$ 215,165	\$ 85,217	\$ 174,960	\$ 859,745	
負債および資本											
預金 ⁽³⁾											
無担保借入金 ⁽²⁾	\$ 22,556	\$ 16,258	\$ 27,847	\$ 11,422	\$ 14,107	\$ 52,027	\$ 46,194	\$ 10,830	\$ 281,237	\$ 482,478	
担保付借入金 ⁽²⁾	812	3,800	6,685	3,656	4,265	7,190	21,667	11,218	-	59,293	
担保付債券	-	-	-	-	-	3,226	14,612	3,470	-	21,308	
その他											
手形引受け	5,224	1,621	470	254	2,384	-	-	-	-	9,953	
空売りした有価証券に関連する債務	47,128	-	-	-	-	-	-	-	-	47,128	
買戻し条件付売却資産および貸付有価証券に関連する債務	53,389	1,991	1,308	877	290	1,500	-	-	1,061	60,416	
デリバティブ	3,021	5,233	2,569	2,536	2,312	11,365	17,739	31,970	-	76,745	
その他の金融負債 ⁽²⁾	17,123	875	692	268	344	383	662	3,969	123	24,439	
劣後無担保社債	-	-	-	-	-	217	-	7,226	-	7,443	
金融負債合計	\$ 149,253	\$ 29,778	\$ 39,571	\$ 19,013	\$ 23,702	\$ 75,908	\$ 100,874	\$ 68,683	\$ 282,421	\$ 789,203	
その他の金融負債以外の負債 ⁽²⁾	1,606	2,834	686	114	135	1,085	1,692	7,349	5,581	21,082	
資本	-	-	-	-	-	-	-	-	49,460	49,460	
負債および資本合計	\$ 150,859	\$ 32,612	\$ 40,257	\$ 19,127	\$ 23,837	\$ 76,993	\$ 102,566	\$ 76,032	\$ 337,462	\$ 859,745	
オフバランス・シート項目											
金融保証	\$ 392	\$ 1,341	\$ 2,336	\$ 1,938	\$ 2,985	\$ 2,295	\$ 4,113	\$ 141	\$ 51	\$ 15,592	
リース・コミットメント	62	122	181	179	173	662	1,389	1,346	-	4,114	
信用供与予約	3,757	6,843	4,780	6,488	7,320	18,031	91,288	13,615	1,044	153,166	
その他のコミットメント	156	405	444	799	2,292	371	585	169	57,749	62,970	
オフバランス・シート項目合計	\$ 4,367	\$ 8,711	\$ 7,741	\$ 9,404	\$ 12,770	\$ 21,359	\$ 97,375	\$ 15,271	\$ 58,844	\$ 235,842	

(1) 純損益を通じて公正価値で分類されるトレーディング目的の債務証券は、満期保有の見込みがないため 1 ケ月未満の欄に含まれる。

(2) 上表に表示されている数値は、更新されている。

(3) 取引関係に基づく預金の大部分は、要求に応じてまたは契約に基づく直前の通知によって払い戻されるが、実際には、前述「預金構造」の項で説明されているように、かかる顧客残高が当グループの業務および流動性ニーズに対するコアベースを形成している。

(中 略)

< 信用格付 >

(中 略)

2014年 6 月11日、ムーディーズは、カナダの他の 6 大銀行とともに、当グループの長期格付を確認し、アウトルックを安定的からネガティブに変更した。アウトルックの変更は、カナダ政府が国内のシステム上重要な銀行に対するベイルイン制度の実施を発表したこと、および将来の銀行整理にかかる公的費用を責任負担によって削減するという世界的傾向の加速によって、カナダの銀行の上位債保有者および無保険預金者のリスクが増加した、とのムーディーズの見解によるものである。

(中 略)

信用格付

(表64)

2014年12月2日現在⁽²⁾

	短期借入金	長期優先債	見通し
ムーディーズ	P-1	Aa3	ネガティブ ⁽³⁾
スタンダード&プアーズ	A-1+	AA-	ネガティブ ⁽⁴⁾
フィッチ・レーティングス	F1+	AA	安定的
ドミニオン・ボンド・レーティング・サービス	R-1 (高い)	AA	安定的

- (1) 信用格付は、市場価格または特定の投資家に対する適合性について意見を述べるものではないため、金融債務の購入、売却または保有を推奨するものではない。格付は、格付機関により、その時々定められる基準に基づいて決定され、また当該格付機関は、いつでも格付を変更または撤回できる。
- (2) クロール・ボンド・レーティング・エージェンシーは、2014年8月19日に当グループの長期および短期優先債ならびに預金の格付をそれぞれAAおよびK1+と確認し、アウトルックを安定的とした。これらの格付は自発的に行われたもので、当グループは格付作業に関わっていない。
- (3) ムーディーズは、当グループの裏付上位債および無保険預金につき、2014年6月11日にアウトルックを安定的からネガティブに変更した。
- (4) スタンダード&プアーズは、カナダ連邦政府のペイルイン・ポリシー発表の影響の可能性を反映し、2014年8月8日に当グループのアウトルックを安定的からネガティブに変更した。

(後略)

<訂正後>

(前略)

<資金調達>

(中略)

預金構造

2014年度中、当グループはコア預金基盤の構築も続けた。リレーションシップ・ベースの預金は、個人預金フランチャイズならびに商業および機関顧客グループを含み、変動の少ない残高を維持する、主要な信頼できる資金源である。預金保険および時に当グループとの排他的関係を反映して、これらの残高は、他の取引貸出銀行および投資家からの残高よりも市場の変化に対する反応性が低いため、ほとんどの状況において非常に安定したコア預金の供給源となる。コア預金は、(要求払い、通知および定期の)リレーションシップ・ベースの預金残高総額の非常に安定した部分ならびに満期が1年超のホールセール資金に関する統計的流動性調整予測からなり、2014年10月31日現在、預金総額に占める割合は69% (2013年度は70%) となった。前年度中、当グループの預金総額の増加におおむね対応して、コア預金の残高は10%増加した。コア預金の増加は、主としてリレーションシップ・ベース預金の増加および(それより割合は小さいが)長期ホールセール資金調達の実行によりもたらされたものである。当グループのリレーションシップ・ベースの預金およびホールセール資金調達の満期日についての詳細は、「リスク特性」の項および下表「ホールセール資金調達の構成」を参照のこと。

(中略)

当グループは、代替資金源として、ならびに流動性および資産/負債の管理目的で、住宅担保ローンならびにクレジットカードおよび自動車ローン担保証券化プログラムを利用している。当グループ全体の担保付長期資金調達には、売却したMBSの残高、住宅担保ローンを担保とするカバード・ボンドならびにクレジットカードおよび自動車ローンが含まれる。

2013年度と比較すると、売却したMBSの残高は70億ドル減少し、カバード・ボンドならびにクレジットカードおよび自動車ローンはそれぞれ50億ドルおよび10億ドル増加した。

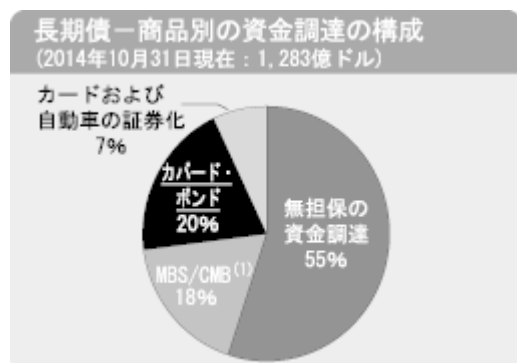
(中 略)

地理別プログラム

(表60)

カナダ	米国	ヨーロッパ/アジア
・カナダにおける発行登録 - 150億ドル	・SEC記名公債 - 250億米ドル ・SEC記名公債カバード・ボンド - 120億米ドル	・ヨーロッパ債券発行プログラム - 400億米ドル ・カバード・ボンド・プログラム - 230億ユーロ ・日本における発行プログラム - 1兆円

当グループは、カナダ預金証書、カナダNHA MBS、カナダ・カバード・ボンド、クレジットカード債権担保証券、カンガルー債（オーストラリア国内市場で外国企業により発行されたもの）およびヤンキー預金証書（米国国内市場で外国企業により発行されたもの）を使用して長期的な資金調達を行っている。当グループは、新たな市場および未開発の投資セグメントへの進出について、相対的な発行費用に照らして常に評価を行っている。これは、そのような拡大によってホールセール資金調達の柔軟性が増す上、資金源の集中および依存を最小限に抑え、全体的な調達費用を削減することができるからである。下図に示すとおり、当グループの現在の長期負債の構成は、通貨別および長期資金調達商品のタイプ別に、十分に分散されている。競争力の高い信用格付を維持することも、費用効率の高い資金調達に不可欠である。



(中 略)

ホールセール資金調達の内訳⁽¹⁾

(表61)

2014年10月31日現在								
(単位：百万カナダドル)	1ヶ月未満	1 - 3ヶ月	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1年未満 小計	1 - 2年	2年以上	合計
銀行からの預金 ⁽²⁾	\$ 3,034	\$ 277	\$ 11	\$ 19	\$ 3,341	\$ -	\$ -	\$ 3,341
譲渡性預金証書および コマーシャル・ペーパー	859	4,411	10,880	12,873	29,023	2,746	-	31,769
資産担保コマーシャル・ ペーパー ⁽³⁾	518	1,320	1,835	4,114	7,787	-	-	7,787
無担保優先メディアムターム ノート ⁽⁴⁾	592	4,573	3,341	3,970	12,476	16,809	38,254	67,539
無担保優先仕組債 ⁽⁵⁾	336	578	458	1,058	2,430	597	4,729	7,756

証券化されたモーゲージ	58	699	950	1,435	3,142	3,751	16,395	23,288
カバード・ボンド / 資産担保証券 (6)	761	22	2,391	2,635	5,809	6,934	20,246	32,989
劣後負債	200	-	-	1,500	1,700	1,500	4,632	7,832
その他 ⁽⁷⁾	3,203	51	596	1,111	4,961	42	3,963	8,966
合計	\$ 9,561	\$ 11,931	\$ 20,462	\$ 28,715	\$ 70,669	\$ 32,379	\$ 88,219	\$ 191,267
内訳								
- 担保付	\$ 4,455	\$ 2,041	\$ 5,176	\$ 8,184	\$ 19,856	\$ 10,685	\$ 36,641	\$ 67,182
- 無担保	5,106	9,890	15,286	20,531	50,813	21,694	51,578	124,085

2013年10月31日現在								
(単位：百万カナダドル)	1ヶ月未満	1 - 3ヶ月	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1年未満 小計	1 - 2年	2年以上	合計
銀行からの預金 ⁽²⁾	\$ 1,820	\$ 164	\$ 10	\$ 354	\$ 2,348	\$ -	\$ -	\$ 2,348
譲渡性預金証書および コマーシャル・ペーパー	549	3,350	17,122	9,969	30,990	2,088	624	33,702
資産担保コマーシャル・ ペーパー ⁽³⁾	-	626	1,586	1,717	3,929	-	-	3,929
無担保優先ミディアムターム ノート ⁽⁴⁾	-	2,333	3,162	4,608	10,103	9,771	35,670	55,544
無担保優先仕組債 ⁽⁵⁾	274	283	565	808	1,930	828	3,131	5,889
証券化されたモーゲージ	758	2,477	4,078	2,040	9,353	2,845	18,251	30,449
カバード・ボンド / 資産担保証券 (6)	54	94	132	213	493	6,007	21,761	28,261
劣後負債	1,000	-	-	600	1,600	1,700	4,121	7,421
その他 ⁽⁷⁾	4,401	55	163	1,148	5,767	-	3,390	9,157
合計	\$ 8,856	\$ 9,382	\$ 26,818	\$ 21,457	\$ 66,513	\$ 23,239	\$ 86,948	\$ 176,700
内訳								
- 担保付	\$ 5,040	\$ 3,197	\$ 5,796	\$ 3,970	\$ 18,003	\$ 8,852	\$ 40,011	\$ 66,866
- 無担保	3,816	6,185	21,022	17,487	48,510	14,387	46,937	109,834

(1) 銀行引受手形を除く。

(2) 財務により集められた預金のみを含む。これらの銀行に対して当グループが提供するサービス（証券保管、現金管理等）に関連する預金を除く。

(3) 連結負債のみを含み、当グループの担保付コマーシャル・ペーパープログラムを含む。

(4) 預金証書を含む。

(5) 外国為替、商品および株式の値動きに連動する配当のある債券を含む。

(6) クレジットカード、自動車およびモーゲージを含む。

(7) テンダーオプション・ボンド（担保付）3,118百万ドル（2013年10月31日現在4,227百万ドル）、無記名式預金証書（無担保）2,215百万ドル（2013年10月31日現在1,540百万ドル）およびその他長期仕組預金（無担保）3,633百万ドル（2013年10月31日現在3,390百万ドル）を含む。

(中 略)

金融資産、金融負債およびオフバランス・シート項目における契約上の満期予定

(表62)

2014年10月31日現在										
(単位：百万カナダドル)	1ヶ月未満	1 - 3ヶ月	3 - 6ヶ月	6 - 9ヶ月	9 - 12ヶ月	1 - 2年	2 - 5年	5年以上	満期日の 定めなし	合計
資産										
現金および預け金	\$ 22,871	\$ 218	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 2,731	\$ 25,820
有価証券										
トレーディング ⁽¹⁾	94,025	13	65	55	48	229	558	5,236	51,151	151,380
売却可能	4,450	3,739	2,528	433	1,113	3,417	18,307	11,959	1,822	47,768
売却し条件付購入資産および借入有価証券担保金	54,860	24,728	28,241	8,261	10,361	2,142	-	-	6,987	135,580
貸出金（貸倒引当金控除後）	19,260	10,776	7,490	14,961	16,081	73,788	176,063	29,787	87,023	435,229
その他										
手形引受見返	6,218	2,013	399	433	2,393	-	6	-	-	11,462
デリバティブ	4,145	7,275	3,483	2,673	1,909	8,507	21,331	38,071	8	87,402
その他の金融資産	18,729	672	585	169	106	245	281	828	828	22,443
金融資産合計	\$ 224,558	\$ 49,434	\$ 42,791	\$ 26,985	\$ 32,011	\$ 88,328	\$ 216,546	\$ 85,881	\$ 150,550	\$ 917,084
その他の金融資産以外の資産	1,847	779	679	409	52	589	1,637	2,302	15,172	23,466
資産合計	\$ 226,405	\$ 50,213	\$ 43,470	\$ 27,394	\$ 32,063	\$ 88,917	\$ 218,183	\$ 88,183	\$ 165,722	\$ 940,550
負債および資本										
預金 ⁽²⁾										
無担保借入金	\$ 31,190	\$ 22,626	\$ 27,372	\$ 18,602	\$ 21,581	\$ 39,693	\$ 49,523	\$ 9,727	\$ 310,045	\$ 530,359
担保付借入金	561	2,715	2,950	5,331	4,786	9,753	21,099	10,135	-	57,330
カバード・ボンド	748	-	2,558	-	-	4,908	14,556	3,641	-	26,411
その他										
手形引受け	6,218	2,013	399	433	2,393	-	6	-	-	11,462
空売りした有価証券に関連する債務	50,345	-	-	-	-	-	-	-	-	50,345

買戻し条件付売却資産および貸付有価証券 に関連する債務	58,208	1,252	1,306	1,051	574	-	-	-	1,940	64,331
デリバティブ	3,745	6,997	3,845	3,351	2,042	10,345	22,295	36,359	3	88,982
その他の金融負債	18,094	1,121	492	170	298	309	530	4,033	357	25,404
劣後無担保社債	200	-	-	-	-	-	-	7,659	-	7,859
金融負債合計	\$ 169,309	\$ 36,724	\$ 38,922	\$ 28,938	\$ 31,674	\$ 65,008	\$ 108,009	\$ 71,554	\$ 312,345	\$ 862,483
その他の金融負債以外の負債	1,454	2,970	674	57	78	917	2,456	7,956	7,002	23,564
資本	-	-	-	-	-	-	-	-	54,503	54,503
負債および資本合計	\$ 170,763	\$ 39,694	\$ 39,596	\$ 28,995	\$ 31,752	\$ 65,925	\$ 110,465	\$ 79,510	\$ 373,850	\$ 940,550
オフバランス・シート項目										
金融保証	\$ 646	\$ 2,391	\$ 2,289	\$ 1,982	\$ 2,970	\$ 1,325	\$ 5,292	\$ 254	\$ 59	\$ 17,208
リース・コミットメント	58	114	167	165	161	634	1,220	1,291	-	3,810
信用供与予約	1,660	6,352	7,329	6,806	8,513	19,768	108,250	11,539	2,299	172,516
その他のコミットメント	127	420	575	879	2,578	289	984	263	62,319	68,434
オフバランス・シート項目合計	\$ 2,491	\$ 9,277	\$ 10,360	\$ 9,832	\$ 14,222	\$ 22,016	\$ 115,746	\$ 13,347	\$ 64,677	\$ 261,968

- (1) 純損益を通じて公正価値で分類されるトレーディング目的の債務証券は、満期保有の見込みがないため1ヶ月未満の欄に含まれる。
- (2) 取引関係に基づく預金の大部分は、要求に応じてまたは契約に基づく直前の通知によって払い戻されるが、実際には、前述「預金構造」の項で説明されているように、かかる顧客残高が当グループの業務および流動性ニーズに対するコアベースを形成している。

2013年10月31日現在										
(単位: 百万カナダドル)	1ヶ月未満	1 - 3ヶ月	3 - 6ヶ月	6 - 9ヶ月	9 - 12ヶ月	1 - 2年	2 - 5年	5年以上	満期日の定めなし	合計
資産										
現金および預け金	\$ 12,989	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 11,600	\$ 24,589
有価証券										
トレーディング ⁽¹⁾	93,407	40	19	40	38	249	534	4,507	45,189	144,023
売却可能	3,420	4,641	1,268	796	1,116	2,452	10,021	13,140	1,833	38,687
売戻し条件付購入資産および借入有価証券担保金 ⁽²⁾	59,226	10,653	18,506	6,268	10,207	1,543	-	-	11,114	117,517
貸出金(貸倒引当金控除後) ⁽²⁾	14,489	9,689	6,136	10,459	19,614	45,686	181,766	30,918	90,093	408,850
その他										
手形引受見返	5,224	1,621	470	254	2,384	-	-	-	-	9,953
デリバティブ	2,349	5,028	2,338	2,353	1,627	6,284	21,056	33,786	1	74,822
その他の金融資産	16,082	847	754	114	122	270	447	639	575	19,850
金融資産合計	\$ 207,186	\$ 32,519	\$ 29,491	\$ 20,284	\$ 35,108	\$ 56,484	\$ 213,824	\$ 82,990	\$ 160,405	\$ 838,291
その他の金融資産以外の資産	1,273	453	311	147	741	406	1,341	2,227	14,555	21,454
資産合計	\$ 208,459	\$ 32,972	\$ 29,802	\$ 20,431	\$ 35,849	\$ 56,890	\$ 215,165	\$ 85,217	\$ 174,960	\$ 859,745
負債および資本										
預金 ⁽³⁾										
無担保借入金 ⁽²⁾	\$ 22,556	\$ 16,258	\$ 27,847	\$ 11,422	\$ 14,107	\$ 52,027	\$ 46,194	\$ 10,830	\$ 281,237	\$ 482,478
担保付借入金 ⁽²⁾	812	3,800	6,685	3,656	4,265	7,190	21,667	11,218	-	59,293
カバード・ボンド	-	-	-	-	-	3,226	14,612	3,470	-	21,308
その他										
手形引受け	5,224	1,621	470	254	2,384	-	-	-	-	9,953
空売りした有価証券に関連する債務	47,128	-	-	-	-	-	-	-	-	47,128
買戻し条件付売却資産および貸付有価証券 に関連する債務	53,389	1,991	1,308	877	290	1,500	-	-	1,061	60,416
デリバティブ	3,021	5,233	2,569	2,536	2,312	11,365	17,739	31,970	-	76,745
その他の金融負債 ⁽²⁾	17,123	875	692	268	344	383	662	3,969	123	24,439
劣後無担保社債	-	-	-	-	-	217	-	7,226	-	7,443
金融負債合計	\$ 149,253	\$ 29,778	\$ 39,571	\$ 19,013	\$ 23,702	\$ 75,908	\$ 100,874	\$ 68,683	\$ 282,421	\$ 789,203
その他の金融負債以外の負債 ⁽²⁾	1,606	2,834	686	114	135	1,085	1,692	7,349	5,581	21,082
資本	-	-	-	-	-	-	-	-	49,460	49,460
負債および資本合計	\$ 150,859	\$ 32,612	\$ 40,257	\$ 19,127	\$ 23,837	\$ 76,993	\$ 102,566	\$ 76,032	\$ 337,462	\$ 859,745
オフバランス・シート項目										
金融保証	\$ 392	\$ 1,341	\$ 2,336	\$ 1,938	\$ 2,985	\$ 2,295	\$ 4,113	\$ 141	\$ 51	\$ 15,592
リース・コミットメント	62	122	181	179	173	662	1,389	1,346	-	4,114
信用供与予約	3,757	6,843	4,780	6,488	7,320	18,031	91,288	13,615	1,044	153,166
その他のコミットメント	156	405	444	799	2,292	371	585	169	57,749	62,970
オフバランス・シート項目合計	\$ 4,367	\$ 8,711	\$ 7,741	\$ 9,404	\$ 12,770	\$ 21,359	\$ 97,375	\$ 15,271	\$ 58,844	\$ 235,842

- (1) 純損益を通じて公正価値で分類されるトレーディング目的の債務証券は、満期保有の見込みがないため1ヶ月未満の欄に含まれる。
- (2) 上表に表示されている数値は、更新されている。
- (3) 取引関係に基づく預金の大部分は、要求に応じてまたは契約に基づく直前の通知によって払い戻されるが、実際には、前述「預金構造」の項で説明されているように、かかる顧客残高が当グループの業務および流動性ニーズに対するコアベースを形成している。

(中 略)

< 信用格付 >

(中 略)

2014年6月11日、ムーディーズは、カナダの他の6大銀行とともに、当グループの長期格付を確認し、アウトルックを安定的からネガティブに変更した。アウトルックの変更は、カナダ政府が国内のシステム上重要な銀行に対するバイルイン制度の実施を発表したこと、および将来の銀行整理にかかる公的費用を責任負担によって削減するという世界的傾向の加速によって、カナダの銀行の優先債保有者および無保険預金者のリスクが増加した、とのムーディーズの見解によるものである。

(中 略)

信用格付

(表64)

	2014年12月2日現在 ⁽²⁾		
	短期借入金	長期優先債	見通し
ムーディーズ	P-1	Aa3	ネガティブ ⁽³⁾
スタンダード&プアーズ	A-1+	AA-	ネガティブ ⁽⁴⁾
フィッチ・レーティングス	F1+	AA	安定的
ドミニオン・ボンド・レーティング・サービサーズ	R-1 (高い)	AA	安定的

- (1) 信用格付は、市場価格または特定の投資家に対する適合性について意見を述べるものではないため、金融債務の購入、売却または保有を推奨するものではない。格付は、格付機関により、その時々定められる基準に基づいて決定され、また当該格付機関は、いつでも格付を変更または撤回できる。
- (2) クロール・ボンド・レーティング・エージェンシーは、2014年8月19日に当グループの長期および短期優先債ならびに預金の格付をそれぞれAAおよびK1+と確認し、アウトルックを安定的とした。これらの格付は自発的に行われたもので、当グループは格付作業に関わっていない。
- (3) ムーディーズは、当グループの裏付優先債および無保険預金につき、2014年6月11日にアウトルックを安定的からネガティブに変更した。
- (4) スタンダード&プアーズは、カナダ連邦政府のバイルイン・ポリシー発表の影響の可能性を反映し、2014年8月8日に当グループのアウトルックを安定的からネガティブに変更した。

(後 略)

保険リスク

< 訂正前 >

保険リスクとは、保険契約および再保険契約に基づく給付金支払いの金額、時期および/または頻度が予想と異なった場合に発生する可能性のある、潜在的な財務損失である。リスク管理体系の他の部分の対象となるその他のリスク（信用、市場および業務リスク等）については、かかるリスクがリスクの移転に付帯または付随するため、保険リスクには含まない。

(後 略)

< 訂正後 >

保険リスクとは、保険契約および再保険契約に基づく給付金支払いの金額、時期および/または頻度が予想と異なった場合に発生する可能性のある、潜在的な財務損失である。リスク管理体系の他の部分の対象と

なるその他のリスク（信用リスク、市場リスクおよびオペレーショナル・リスク等）については、かかるリスクがリスクの移転に付帯または付随するため、保険リスクには含まない。

（後 略）

<訂正前>

業務リスク

業務リスクとは、内部のプロセス、人材およびシステムの不適切さもしくは失敗、または外部的事象によって、損失または損害が発生するリスクである。

業務リスクは、その他のリスク管理のための実務および制御を含む、当グループのすべての活動に伴う。業務リスクを管理できなければ、直接または間接的な財務損失、評判に対する影響、規制当局による非難、または信用リスクもしくは市場リスクといった他のリスクの管理も困難になる可能性がある。

< 3つの防衛線 >

業務リスクは、当グループの従来の3つの防衛線ガバナンス・モデルに準じている。このモデルは、業務リスクの管理のためのグループ規模の協調アプローチにおける組織の役割および責任を網羅するものである。詳細は、「リスク管理 - グループ・リスク管理」の項を参照のこと。

< 業務リスク体系 >

当グループは、グループ・リスク管理体系の原則に則り、業務リスクの特定、評価および監視プロセスを提示する業務リスク体系を導入した。このプロセスは、以下の主要なプログラムを通じて確立されている。

- ・ 内的事象 - 内部事象は、業務リスクが意図しない、識別可能な影響につながる、またはつながったかもしれない具体的な事例をいう。内部事象プログラムは、RBCに影響を与える業務リスク事由の分析を容易にするため、内部事象データを収集および分析する体系的かつ一貫したアプローチである。このプログラムによって、「当グループに実際に起こった事象」に基づいた学習が可能になり、業務リスク選好の把握の一助となる。
- ・ 外的事象 - 外部事象は、RBC以外の金融機関に影響を与える業務リスク事由をいう。外部事象の監視および分析は、業界内の業務リスク経験を認識し、新たな業界の動向を知るために、きわめて重要である。

（中 略）

- ・ シナリオ分析 - シナリオ分析は、突発的だが起こりうる深刻な業務リスク事由を合理的に評価する、体系的かつ統制の取れたプロセスである。そのような「テール・リスク」に対するRBCの脆弱性を理解することで、軽減策が見つかり、業務リスク選好決定の一環として関連業務リスクの基準の決定について情報が提供される。

（中 略）

業務リスク・プログラムによる結論は、業務リスク特性を決定する、業務リスクに対する全体的なエクスポージャーのレベルを把握するために用いられる。この特性には、重大な業務リスク・エクスポージャー、潜在的な新規および新興エクスポージャーおよび傾向、ならびに制御環境およびリスクの見通しに関する総合的な結論が含まれる。当グループは、業務リスクによる将来の潜在的影響を緩和および軽減するため、企業の保険機会を積極的に見極め、調査している。

当グループは、潜在的損失の引受けとその軽減費用の負担との両立について、業務リスク選好という形でリスク/リターンの判断を行う。業務リスク選好は、取締役会レベルで決定され、各事業セグメントに伝えられる。

業務リスクおよびリスク・エクスポージャーの透明性の積極的管理をサポートするため、RBCの各レベルで管理報告が行われている。報告は定期的に行われ、各事業セグメントおよびRBC全体のリスク状況および傾向の主たる要因について詳しい情報を提供する。また、事業戦略または業務リスク選好に合わない業務リスク特性の変化を特定し、検討する。

< 業務リスク資本 >

当グループは現在、業務リスクの自己資本比率および事業ユニット間の資本の配分の計算に、標準アプローチを用いている。現在は、規制資本の認定計算方法としてバーゼル の高度測定アプローチ（AMA）の導入に向け、認定の取得手続き中である。資本のモデル化の結果により、予測損失および不測の損失を数量化することで、主要なリスクの重要度に関する透明性がさらに増す。

< 業務リスクの損失発生事由 >

2014年度中、重大な業務リスクの損失発生事由はなかった。訴訟を含む不測の事態についての詳細は、2014年度連結財務諸表に対する注記26および注記27を参照のこと。

（ 後 略 ）

< 訂正後 >

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、内部のプロセス、人材およびシステムの不適切さもしくは失敗、または外部的事象によって、損失または損害が発生するリスクである。

オペレーショナル・リスクは、その他のリスク管理のための実務および制御を含む、当グループのすべての活動に伴う。オペレーショナル・リスクを管理できなければ、直接または間接的な財務損失、評判に対する影響、規制当局による非難、または信用リスクもしくは市場リスクといった他のリスクの管理も困難になる可能性がある。

< 3つの防衛線 >

オペレーショナル・リスクは、当グループの従来の3つの防衛線ガバナンス・モデルに準じている。このモデルは、オペレーショナル・リスクの管理のためのグループ規模の協調アプローチにおける組織の役割および責任を網羅するものである。詳細は、「リスク管理 - グループ・リスク管理」の項を参照のこと。

< オペレーショナル・リスク体系 >

当グループは、グループ・リスク管理体系の原則に則り、オペレーショナル・リスクの特定、評価および監視プロセスを提示するオペレーショナル・リスク体系を導入した。このプロセスは、以下の主要なプログラムを通じて確立されている。

- ・ 内的事象 - 内部事象は、オペレーショナル・リスクが意図しない、識別可能な影響につながる、またはつながったかもしれない具体的な事例をいう。内部事象プログラムは、RBCに影響を与えるオペレーショナル・リスク事由の分析を容易にするため、内部事象データを収集および分析する体系的かつ一貫したアプローチである。このプログラムによって、「当グループに実際に起こった事象」に基づいた学習が可能になり、オペレーショナル・リスク選好の把握の一助となる。
- ・ 外的事象 - 外部事象は、RBC以外の金融機関に影響を与えるオペレーショナル・リスク事由をいう。外部事象の監視および分析は、業界内のオペレーショナル・リスク経験を認識し、新たな業界の動向を知るために、きわめて重要である。

(中 略)

- ・ シナリオ分析 - シナリオ分析は、突発的だが起こりうる深刻なオペレーショナル・リスク事由を合理的に評価する、体系的かつ統制の取れたプロセスである。そのような「テール・リスク」に対するRBCの脆弱性を理解することで、軽減策が見つかり、オペレーショナル・リスク選好決定の一環として関連オペレーショナル・リスクの基準の決定について情報が提供される。

(中 略)

オペレーショナル・リスク・プログラムによる結論は、オペレーショナル・リスク特性を決定する、オペレーショナル・リスクに対する全体的なエクスポージャーのレベルを把握するために用いられる。この特性には、重大なオペレーショナル・リスク・エクスポージャー、潜在的な新規および新興エクスポージャーおよび傾向、ならびに制御環境およびリスクの見通しに関する総合的な結論が含まれる。当グループは、オペレーショナル・リスクによる将来の潜在的影響を緩和および軽減するため、企業の保険機会を積極的に見極め、調査している。

当グループは、潜在的損失の引受けとその軽減費用の負担との両立について、オペレーショナル・リスク選好という形でリスク/リターンの判断を行う。オペレーショナル・リスク選好は、取締役会レベルで決定され、各事業セグメントに伝えられる。

オペレーショナル・リスクおよびリスク・エクスポージャーの透明性の積極的管理をサポートするため、RBCの各レベルで管理報告が行われている。報告は定期的に行われ、各事業セグメントおよびRBC全体のリスク状況および傾向の主たる要因について詳しい情報を提供する。また、事業戦略またはオペレーショナル・リスク選好に合わないオペレーショナル・リスク特性の変化を特定し、検討する。

< オペレーショナル・リスク資本 >

当グループは現在、オペレーショナル・リスクの自己資本比率および事業ユニット間の資本の配分の計算に、標準アプローチを用いている。現在は、規制資本の認定計算方法としてバーゼル の高度測定アプローチ (AMA) の導入に向け、認定の取得手続き中である。資本のモデル化の結果により、予測損失および不測の損失を数量化することで、主要なリスクの重要度に関する透明性がさらに増す。

< オペレーショナル・リスクの損失発生事由 >

2014年度中、重大なオペレーショナル・リスクの損失発生事由はなかった。訴訟を含む不測の事態についての詳細は、2014年度連結財務諸表に対する注記26および注記27を参照のこと。

(後 略)

評判リスク

< 訂正前 >

(前 略)

評判リスクは、様々な出来事から発生しうるが、主として信用リスク、規制、法律および業務リスクに関連して、ならびに強固なリスク管理行動を維持することができない場合に発生する。業務上の失敗および法令の不遵守により、グループの評判は重大な影響を受ける可能性がある。

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

評判リスクは、様々な出来事から発生しうるが、主として信用リスク、規制リスク、法律リスクおよびオペレーショナル・リスクに関連して、ならびに強固なリスク管理行動を維持することができない場合に発生する。業務上の失敗および法令の不遵守により、グループの評判は重大な影響を受ける可能性がある。

(後 略)

法律および規制環境リスク

< 訂正前 >

(前 略)

< カナダのベイルイン制度 >

2014年8月1日、カナダ政府は、6行のD-SIBについて「ベイルイン」制度を提案した。ベイルイン制度は、2008年の金融危機以降、金融機関の破綻による潜在的損失に対する納税者のエクスポージャーを制限し、当該機関の株主および債権者がかかる損失の負担責任を負うことを義務づける目的で、多くの法域で導入されている。この制度案は、カナダ政府に対して、ある金融機関の既存の普通株式を永久に無効としたり、ある金融機関の長期上位債を普通株式に転換したりする権限を与えるものである。いずれの権限も、当該金融機関が存続不能となり、当該金融機関の非実現可能性条件付資本（NVCC）商品の普通株式への転換が完了している場合にのみ、行使可能となる。預金（カナダ預金保険公社が付保するものを含む。）、より短期で無担保の企業向け債券、およびデリバティブは、転換または失効の対象とはならない。影響を受けた銀

行が提案された転換を吸収するだけの十分な資本を維持できるよう、損失吸収力の要件も強化される。この改正案は、当グループの資金調達費用にマイナスの影響を与える可能性がある。

(後 略)

<訂正後>

(前 略)

<カナダのベイルイン制度>

2014年8月1日、カナダ政府は、6行のD-SIBについて「ベイルイン」制度を提案した。ベイルイン制度は、2008年の金融危機以降、金融機関の破綻による潜在的損失に対する納税者のエクスポージャーを制限し、当該機関の株主および債権者がかかる損失の負担責任を負うことを義務づける目的で、多くの法域で導入されている。この制度案は、カナダ政府に対して、ある金融機関の既存の普通株式を永久に無効としたり、ある金融機関の長期優先債を普通株式に転換したりする権限を与えるものである。いずれの権限も、当該金融機関が存続不能となり、当該金融機関の非実現可能性条件付資本(NVCC)商品の普通株式への転換が完了している場合にのみ、行使可能となる。預金(カナダ預金保険公社が付保するものを含む。)、より短期で無担保の企業向け債券、およびデリバティブは、転換または失効の対象とはならない。影響を受けた銀行が提案された転換を吸収するだけの十分な資本を維持できるよう、損失吸収力の要件も強化される。この改正案は、当グループの資金調達費用にマイナスの影響を与える可能性がある。

(後 略)

システミック・リスク

<訂正前>

(前 略)

ストレス・テストでは、多くのリスク要因の動きを同時に検討する。これは、困難な経済状況下における信用、市場、流動性および資金調達、ならびに業務リスクの当グループに対する潜在的影響を測定することで、当グループの事業戦略および資本計画が堅牢であることを確認するために用いられるものである。グループ規模のストレス・テスト・プログラムは、起こりうる困難な経済および金融市場の事由を想定した、深刻度別のストレス・シナリオを用いる。これらのストレス・シナリオは、グループ全体で評価され、その結果は統合され、当グループの財務業績および自己資本比率への影響についてのグループ全体の見解が形成される。ストレス・テストの詳細は、「リスク管理 - グループ・リスク管理」の項を参照のこと。

<訂正後>

(前 略)

ストレス・テストでは、多くのリスク要因の動きを同時に検討する。これは、困難な経済状況下における信用リスク、市場リスク、流動性および資金調達リスク、ならびにオペレーショナル・リスクの当グループに対する潜在的影響を測定することで、当グループの事業戦略および資本計画が堅牢であることを確認する

ために用いられるものである。グループ規模のストレス・テスト・プログラムは、起こりうる困難な経済および金融市場の事由を想定した、深刻度別のストレス・シナリオを用いる。これらのストレス・シナリオは、グループ全体で評価され、その結果は統合され、当グループの財務業績および自己資本比率への影響についてのグループ全体の見解が形成される。ストレス・テストの詳細は、「リスク管理 - グループ・リスク管理」の項を参照のこと。

資本管理

< 訂正前 >

(前 略)

< バーゼル >

(中 略)

バーゼル に基づき、銀行は、様々な選択肢の中から、信用、市場および業務リスクを支えるために必要とされる最低限の規制資本の計算方法を決定する。

当グループは、規制当局に対する連結報告の目的上、信用リスク資本の計算にバーゼル のIRBを採用した。当グループの信用リスク・エクスポージャーの大部分は、規制資本目的のためバーゼル のIRBによって報告されているが、連結の観点から重要でないと判断されたポートフォリオの一部（カリブ海地域における銀行業務等）については、引き続き信用リスクにバーゼル 標準アプローチを用いている。規制当局に対する業務リスク資本の連結報告には、引き続き標準アプローチを用いている。規制当局に対する市場リスク資本の連結報告には、内部モデルに基づくアプローチおよび標準アプローチの両方を用いている。

(中 略)

バーゼル - OSFIの規制目標

(表66)

バーゼル の自己資本比率	バーゼル での大手銀行に対するOSFIの規制目標設定					2014年 10月31日 現在のRBC 自己資本 比率	OSFIの 目標比率 の達成
	最低水準	資本保全 バッファ	資本保全 バッファを 含む 最低水準	D-SIBの 手数料 ⁽¹⁾	資本保全バッ ファおよび D-SIBの手数料を 含む最低水準 ⁽¹⁾		
普通株式等Tier 1 比率（％）	> 4.5%	2.5%	> 7.0%	1.0%	> 8.0%	9.9%	
Tier 1 資本（％）	> 6.0%	2.5%	> 8.5%	1.0%	> 9.5%	11.4%	
資本総額（％）	> 8.0%	2.5%	> 10.5%	1.0%	> 11.5%	13.4%	

(1) 2016年 1 月 1 日以降、D-SIBの手数料はリスク調整後資本に適用される。

(中 略)

< 規制資本、RWAおよび自己資本比率 >

規制資本、リスク調整後資産（RWA）および自己資本比率

(表67)

	2014年 10月31日現在	2013年 10月31日現在
(単位：百万カナダドル（％および倍率の数値を除く。）)		
資本 ⁽¹⁾		

CET 1 資本	\$	36,406	\$	30,541
Tier 1 資本		42,202		37,196
資本総額		50,020		44,716
自己資本比率の計算に使用されるRWA^{(1),(2)}				
CET 1 資本RWA	\$	368,594	\$	318,981
Tier 1 資本RWA		369,976		318,981
資本総額RWA		372,050		318,981
資本総額RWAの構成⁽¹⁾				
信用リスク	\$	286,327	\$	232,641
市場リスク		38,460		42,184
業務リスク		47,263		44,156
自己資本リスク調整後総資産	\$	372,050	\$	318,981
自己資本比率および倍率^{(1),(3)}				
CET 1 比率		9.9%		9.6%
Tier 1 比率		11.4%		11.7%
総自己資本比率		13.4%		14.0%
資産・資本倍率 ⁽⁴⁾		17.0X		16.6X
調整後総資産 (GAA) (単位: 十億ドル) ⁽⁴⁾	\$	885.0	\$	807.0

- (1) 資本、RWAおよび自己資本比率ならびに資本倍率はバーゼル の枠組みに基づきOSFI CARを使用して計算されている。
- (2) 2014年第3四半期以降、資本の3つの分類のそれぞれに適用あるリスク調整後資産の計算に含まれるCVAに対して、様々なスカラーが設定された。2014年の第3四半期および第4四半期中にCET 1、Tier 1 および総自己資本にそれぞれ57%、65%および77%のCVAスカラーが設定された。2015年度には、CVAスカラーは64%、71%および77%に変更される。
- (3) 国際的金融機関との比較可能性を高めるため、当グループの自己資本比率の暫定値を次のとおり記載する。2014年10月31日現在、CET 1 比率、Tier 1 比率および総自己資本比率の暫定値は、それぞれ、11.8%、11.8%および13.8%である。暫定値とは、本年度において段階的に導入される規制調整および段階的に廃止される不適格な資本商品にしたがって計算された数値を示す。
- (4) 資産・資本倍率およびGAAも、移行ベースで計算されている。

(中 略)

< バーゼル RWA >

OSFIは、信用リスク、業務リスク、および大規模なトレーディング活動を行っている場合は市場リスクに対するエクスポージャーについて、銀行が、リスク・ベースの必要資本を最低限満たすよう定めている。RWAは、これらのリスクタイプのそれぞれについて計算され、その合計がRWA総額となる。さらにOSFIは、リスク・ベースの必要資本の最低金額を、バーゼル に基づき計算した自己資本比率の90%以上と定めている。必要資本が90%に満たない場合、OSFIのCARガイドラインが定めるとおり、RWAへの移行調整を行わなければならない。

総自己資本リスク調整後資産 (表69)

	2014年 10月31日現在						2013年 10月31日現在
(単位: 百万カナダドル (%の数値を除く。))	エクスポ ージャー ⁽¹⁾	リスク 加重平均 ⁽²⁾	リスク調整後資産				合計
			標準 アプローチ	先進的 アプローチ	その他	合計	
信用リスク							
貸付関連およびその他							
住宅担保ローン	\$ 191,905	6%	\$ 1,048	\$ 9,525	\$ -	\$ 10,573	\$ 8,490
その他リテール	229,594	21%	4,775	44,201	-	48,976	48,418

事業	231,982	55%	17,594	109,354	-	126,948	101,780
ソブリン	58,453	13%	2,538	5,145	-	7,683	3,910
銀行	81,477	9%	2,543	4,536	-	7,079	5,409
貸付関連およびその他 総額	\$ 793,411	25%	\$ 28,498	\$ 172,761	\$ -	\$ 201,259	\$ 168,007
トレーディング関連 レポ取引	\$ 284,715	2%	\$ 24	\$ 4,864	\$ 24	\$ 4,912	\$ 2,662
CVAを含むデリバ ティブ（CET 1 の 段階的導入調整）	73,296	37%	1,447	15,116	10,312	26,875	16,489
トレーディング関連総 額	\$ 358,011	9%	\$ 1,471	\$ 19,980	\$ 10,336	\$ 31,787	\$ 19,151
貸付関連およびその他 ならびにトレーディ ング関連合計	\$1,151,422	20%	\$ 29,969	\$ 192,741	\$ 10,336	\$ 233,046	\$ 187,158
銀行帳簿エクイティ	2,035	100%	-	2,025	-	2,025	1,712
証券化エクスポー ジャー	39,936	15%	342	5,488	-	5,830	6,789
規制スケーリング因子	n.a.	n.a.	n.a.	11,938	-	11,938	9,813
その他の資産	43,764	69%	n.a.	n.a.	30,032	30,032	27,169
信用リスク総額	\$1,237,157	23%	\$ 30,311	\$ 212,192	\$ 40,368	\$ 282,871	\$ 232,641
市場リスク							
金利			\$ 2,211	\$ 4,115	\$ -	\$ 6,326	\$ 3,361
持分			178	1,443	-	1,621	3,330
外国為替			1,224	50	-	1,274	1,661
商品			2,025	5	-	2,030	990
個別リスク			11,640	3,340	-	14,980	21,948
増分リスク費用			-	12,229	-	12,229	10,894
市場リスク総額			\$ 17,278	\$ 21,182	\$ -	\$ 38,460	\$ 42,184
業務リスク			\$ 47,263	n.a.	n.a.	\$ 47,263	\$ 44,156
CET 1 資本リスク調整後							
資産 ⁽³⁾			\$ 94,852	233,374	40,368	\$ 368,594	\$ 318,981
Tier 1 資本への、OSFI が 定める追加CVA調整			-	-	1,382	1,382	-
Tier 1 資本リスク調整後							
資産 ⁽³⁾			\$ 94,852	233,374	41,750	\$ 369,976	\$ 318,981
総資本への、OSFI が定め る追加CVA調整			-	-	2,074	2,074	-
総自己資本RWAリスク調							
整後資産 ⁽³⁾	\$1,237,157		\$ 94,852	\$ 233,374	\$ 43,824	\$ 372,050	\$ 318,981

- (1) エクスポート総額とは、債務者のデフォルト時に予想されるグロスエクスポートであるデフォルト時エクスポートを指す。かかる額は、減損貸出引当金または評価損の一部が計上される前であり、信用リスクの軽減および保有する担保による影響を反映していない。
- (2) 特定のカテゴリにおける相手方リスクの加重平均を表す。
- (3) 2014年第3四半期以降、資本の3つの分類のそれぞれに適用あるリスク調整後資産の計算に含まれるCVAに対して、様々なスカラーが設定された。2014年の第3四半期および第4四半期中にCET 1、Tier 1 および総自己資本にそれぞれ57%、65%および77%のCVAスカラーが設定された。2015年度には、CVAスカラーは64%、71%および77%に変更される。

(中 略)

< 配分資本 >

(中 略)

配分資本は、バーゼル 自己資本比率規制に基づいて計算および配分されており、主として信用、市場（トレーディング）および業務リスク測定に調整されている。経済資本は、事業活動に伴うリスクをグループ内で定量化したものであり、高い信用格付を維持するという当グループの目標を反映して、極端な市場条件下でも支払能力を維持するよう求められた資本である。経済資本は、信用、市場（トレーディングおよび非トレーディング）、業務、事業および債券ならびに保険リスクに基づき計算されており、のれんおよびその他無形資産の資本配分も含まれている。これら2つの体系に共通のリスクは、自己資本比率規制の強化を反映するため調整されている。

（中 略）

配分資本	（表72）	
（単位：百万カナダドル）	2014年	2013年
信用リスク	\$ 13,800	\$ 11,800
市場リスク（トレーディングおよび非トレーディング）	3,900	3,300
業務リスク	4,300	4,050
事業および固定資産リスク	2,750	2,650
保険リスク	500	500
のれんおよび無形資産	11,350	10,750
規制資本配分	4,150	3,400
配分資本	\$ 40,750	\$ 36,450
配分下資本 ⁽¹⁾	4,950	4,150
平均普通株主資本	\$ 45,700	\$ 40,600

(1) 比較数値は、IAS第19号「従業員給付」の改訂を反映するため、修正再表示された。

< 2014年度と2013年度との比較 >

配分資本は43億ドル増となった。これは主として、事業拡大に伴う信用リスクの増加、リスク・パラメータのアップデート、および外国為替換算の影響によるものである。市場リスクの増加は、主として非トレーディング目的の金利リスクが増加したこと、および2014年度第1四半期に構造的為替リスクが導入されたことによる。業務リスクおよび事業リスクの増加は、総収益の増加に伴うものである。のれんおよびその他の無形資産リスクの増加は、主として外国為替換算の影響によるものである。

（中 略）

< 事業活動における配分資本 >

当グループは、事業活動を行う上で、様々なリスクにさらされている。下図は、事業セグメントにおけるリスク（信用、市場および業務リスク等）についてまとめたものである。各事業のリスクの規模の比較には、配分資本を利用している。配分資本の分布は、当グループの事業活動の多様性を表している。RWAIは、規制資本要件における信用、市場および業務リスクに対するエクスポージャーを表す。

パーソナル&コマーシャル・バンキングにおいては、主として個人向け金融サービス、企業向け金融サービスおよびカード業務に関する信用リスクが、最も重要なリスクである。機関投資家および個人顧客にサービスを提供するウェルス・マネジメントにおける主要リスクは、業務リスクおよび信用リスクである。インシュアランス事業におけるリスクは、主として生命保険、医療保険、住宅保険および自動車保険に関するもので、市場リスクおよび業務リスクがこれに次ぐ。インベスター&トレジャリー・サービスにおける最大のリスクは信用リスクで、次いで市場リスクおよび業務リスクである。キャピタル・マーケットにおける最も

重要なリスクは信用リスクで、市場リスクがこれに次ぐ。下記の主要なリスクについての詳細は、「リスク管理」の項を参照のこと。

(後 略)

<訂正後>

(前 略)

<バーゼル >

(中 略)

バーゼル に基づき、銀行は、様々な選択肢の中から、信用リスク、市場リスクおよびオペレーショナル・リスクを支えるために必要とされる最低限の規制資本の計算方法を決定する。

当グループは、規制当局に対する連結報告の目的上、信用リスク資本の計算にバーゼルのIRBを採用した。当グループの信用リスク・エクスポージャーの大部分は、規制資本目的のためバーゼルのIRBによって報告されているが、連結の観点から重要でないと判断されたポートフォリオの一部（カリブ海地域における銀行業務等）については、引き続き信用リスクにバーゼル 標準アプローチを用いている。規制当局に対するオペレーショナル・リスク資本の連結報告には、引き続き標準アプローチを用いている。規制当局に対する市場リスク資本の連結報告には、内部モデルに基づくアプローチおよび標準アプローチの両方を用いている。

(中 略)

バーゼル - OSFIの規制目標 (表66)

バーゼルの自己資本比率	バーゼル での大手銀行に対するOSFIの規制目標設定					2014年 10月31日 現在のRBC 自己資本 比率	OSFIの 目標比率の 達成の有無
	最低水準	資本保全 バッファ	資本保全 を含む 最低水準	D-SIBの 手数料 ⁽¹⁾	資本保全バッ ファおよび D-SIBの手数料を 含む最低水準 ⁽¹⁾		
普通株式等Tier 1比率(%)	> 4.5%	2.5%	> 7.0%	1.0%	> 8.0%	9.9%	達成
Tier 1資本(%)	> 6.0%	2.5%	> 8.5%	1.0%	> 9.5%	11.4%	達成
資本総額(%)	> 8.0%	2.5%	> 10.5%	1.0%	> 11.5%	13.4%	達成

(1) 2016年1月1日以降、D-SIBの手数料はリスク調整後資本に適用される。

(中 略)

<規制資本、RWAおよび自己資本比率>

規制資本、リスク調整後資産(RWA)および自己資本比率 (表67)

(単位：百万カナダドル(%および倍率の数値を除く。))		2014年 10月31日現在	2013年 10月31日現在
資本⁽¹⁾			
CET 1 資本	\$	36,406	\$ 30,541
Tier 1 資本		42,202	37,196

資本総額		50,020		44,716
自己資本比率の計算に使用されるRWA^{(1),(2)}				
CET 1 資本RWA	\$	368,594	\$	318,981
Tier 1 資本RWA		369,976		318,981
資本総額RWA		372,050		318,981
資本総額RWAの構成⁽¹⁾				
信用リスク	\$	286,327	\$	232,641
市場リスク		38,460		42,184
オペレーショナル・リスク		47,263		44,156
自己資本リスク調整後総資産	\$	372,050	\$	318,981
自己資本比率および倍率^{(1),(3)}				
CET 1 比率		9.9%		9.6%
Tier 1 比率		11.4%		11.7%
総自己資本比率		13.4%		14.0%
資産・資本倍率 ⁽⁴⁾		17.0X		16.6X
調整後総資産（GAA）（単位：十億ドル） ⁽⁴⁾	\$	885.0	\$	807.0

- (1) 資本、RWAおよび自己資本比率ならびに資本倍率はバーゼル の枠組みに基づきOSFI CARを使用して計算されている。
- (2) 2014年第3 四半期以降、資本の3つの分類のそれぞれに適用あるリスク調整後資産の計算に含まれるCVAに対して、様々なスカラーが設定された。2014年の第3 四半期および第4 四半期中にCET 1、Tier 1 および総自己資本にそれぞれ57%、65%および77%のCVAスカラーが設定された。2015年度には、CVAスカラーは64%、71%および77%に変更される。
- (3) 国際的金融機関との比較可能性を高めるため、当グループの自己資本比率の暫定値を次のとおり記載する。2014年10月31日現在、CET 1 比率、Tier 1 比率および総自己資本比率の暫定値は、それぞれ、11.8%、11.8%および13.8%である。暫定値とは、本年度において段階的に導入される規制調整および段階的に廃止される不適格な資本商品にしたがって計算された数値を示す。
- (4) 資産・資本倍率およびGAAも、移行ベースで計算されている。

（中 略）

< バーゼル RWA >

OSFIは、信用リスク、オペレーショナル・リスク、および大規模なトレーディング活動を行っている場合は市場リスクに対するエクスポージャーについて、銀行が、リスク・ベースの必要資本を最低限満たすよう定めている。RWAは、これらのリスクタイプのそれぞれについて計算され、その合計がRWA総額となる。さらにOSFIは、リスク・ベースの必要資本の最低金額を、バーゼル に基づき計算した自己資本比率の90%以上と定めている。必要資本が90%に満たない場合、OSFIのCARガイドラインが定めるとおり、RWAへの移行調整を行わなければならない。

総自己資本リスク調整後資産 (表69)

	2014年 10月31日現在						2013年 10月31日現在
(単位：百万カナダドル (%の数値を除く。))	エクスポ ージャー ⁽¹⁾	リスク 加重平均 ⁽²⁾	リスク調整後資産				合計
			標準 アプローチ	先進的 アプローチ	その他	合計	
信用リスク							
貸付関連およびその他							
住宅担保ローン	\$ 191,905	6%	\$ 1,048	\$ 9,525	\$ -	\$ 10,573	\$ 8,490
その他リテール	229,594	21%	4,775	44,201	-	48,976	48,418
事業	231,982	55%	17,594	109,354	-	126,948	101,780
ソブリン	58,453	13%	2,538	5,145	-	7,683	3,910

銀行	81,477	9%	2,543	4,536	-	7,079	5,409
貸付関連およびその他 総額	\$ 793,411	25%	\$ 28,498	\$ 172,761	\$ -	\$ 201,259	\$ 168,007
トレーディング関連							
レボ取引	\$ 284,715	2%	\$ 24	\$ 4,864	\$ 24	\$ 4,912	\$ 2,662
CVAを含むデリバ ティブ（CET1の 段階的導入調整）	73,296	37%	1,447	15,116	10,312	26,875	16,489
トレーディング関連総 額	\$ 358,011	9%	\$ 1,471	\$ 19,980	\$ 10,336	\$ 31,787	\$ 19,151
貸付関連およびその他 ならびにトレーディ ング関連合計	\$1,151,422	20%	\$ 29,969	\$ 192,741	\$ 10,336	\$ 233,046	\$ 187,158
銀行帳簿エクイティ	2,035	100%	-	2,025	-	2,025	1,712
証券化エクスポー ジャー	39,936	15%	342	5,488	-	5,830	6,789
規制スケーリング因子	n.a.	n.a.	n.a.	11,938	-	11,938	9,813
その他の資産	43,764	69%	n.a.	n.a.	30,032	30,032	27,169
信用リスク総額	\$1,237,157	23%	\$ 30,311	\$ 212,192	\$ 40,368	\$ 282,871	\$ 232,641
市場リスク							
金利			\$ 2,211	\$ 4,115	\$ -	\$ 6,326	\$ 3,361
持分			178	1,443	-	1,621	3,330
外国為替			1,224	50	-	1,274	1,661
商品			2,025	5	-	2,030	990
個別リスク			11,640	3,340	-	14,980	21,948
増分リスク費用			-	12,229	-	12,229	10,894
市場リスク総額			\$ 17,278	\$ 21,182	\$ -	\$ 38,460	\$ 42,184
オペレーショナル・リス ク			\$ 47,263	n.a.	n.a.	\$ 47,263	\$ 44,156
CET1 資本リスク調整後 資産 ⁽³⁾			\$ 94,852	233,374	40,368	\$ 368,594	\$ 318,981
Tier 1 資本への、OSFIが 定める追加CVA調整			-	-	1,382	1,382	-
Tier 1 資本リスク調整後 資産 ⁽³⁾			\$ 94,852	233,374	41,750	\$ 369,976	\$ 318,981
総資本への、OSFIが定め る追加CVA調整			-	-	2,074	2,074	-
総自己資本RWAリスク調 整後資産 ⁽³⁾	\$1,237,157		\$ 94,852	\$ 233,374	\$ 43,824	\$ 372,050	\$ 318,981

(1) エクスポージャー総額とは、債務者のデフォルト時に予想されるグロスエクスポージャーであるデフォルト時エクスポージャーを指す。かかる額は、減損貸出引当金または評価損の一部が計上される前であり、信用リスクの軽減および保有する担保による影響を反映していない。

(2) 特定のカテゴリーにおける相手方リスクの加重平均を表す。

(3) 2014年第3四半期以降、資本の3つの分類のそれぞれに適用あるリスク調整後資産の計算に含まれるCVAに対して、様々なスカラーが設定された。2014年の第3四半期および第4四半期中にCET1、Tier1および総自己資本にそれぞれ57%、65%および77%のCVAスカラーが設定された。2015年度には、CVAスカラーは64%、71%および77%に変更される。

(中略)

< 配分資本 >

(中略)

配分資本は、バーゼル 自己資本比率規制に基づいて計算および配分されており、主として信用、市場（トレーディング）およびオペレーショナル・リスク測定に調整されている。経済資本は、事業活動に伴うリスクをグループ内で定量化したものであり、高い信用格付を維持するという当グループの目標を反映して、極端な市場条件下でも支払能力を維持するよう求められた資本である。経済資本は、信用、市場（トレーディングおよび非トレーディング）、業務、事業および債券ならびに保険リスクに基づき計算されており、のれんおよびその他無形資産の資本配分も含まれている。これら2つの体系に共通のリスクは、自己資本比率規制の強化を反映するため調整されている。

（中 略）

配分資本	（表72）	
（単位：百万カナダドル）	2014年	2013年
信用リスク	\$ 13,800	\$ 11,800
市場リスク（トレーディングおよび非トレーディング）	3,900	3,300
オペレーショナル・リスク	4,300	4,050
事業および固定資産リスク	2,750	2,650
保険リスク	500	500
のれんおよび無形資産	11,350	10,750
規制資本配分	4,150	3,400
配分資本	\$ 40,750	\$ 36,450
配分下資本 ⁽¹⁾	4,950	4,150
平均普通株主資本	\$ 45,700	\$ 40,600

(1) 比較数値は、IAS第19号「従業員給付」の改訂を反映するため、修正再表示された。

< 2014年度と2013年度との比較 >

配分資本は43億ドル増となった。これは主として、事業拡大に伴う信用リスクの増加、リスク・パラメータのアップデート、および外国為替換算の影響によるものである。市場リスクの増加は、主として非トレーディング目的の金利リスクが増加したこと、および2014年度第1四半期に構造的為替リスクが導入されたことによる。オペレーショナル・リスクおよび事業リスクの増加は、総収益の増加に伴うものである。のれんおよびその他の無形資産リスクの増加は、主として外国為替換算の影響によるものである。

（中 略）

< 事業活動における配分資本 >

当グループは、事業活動を行う上で、様々なリスクにさらされている。下図は、事業セグメントにおけるリスク（信用リスク、市場リスクおよびオペレーショナル・リスク等）についてまとめたものである。各事業のリスクの規模の比較には、配分資本を利用している。配分資本の分布は、当グループの事業活動の多様性を表している。RWAは、規制資本要件における信用リスク、市場リスクおよびオペレーショナル・リスクに対するエクスポージャーを表す。

パーソナル&コマーシャル・バンキングにおいては、主として個人向け金融サービス、企業向け金融サービスおよびカード業務に関する信用リスクが、最も重要なリスクである。機関投資家および個人顧客にサービスを提供するウェルス・マネジメントにおける主要リスクは、オペレーショナル・リスクおよび信用リスクである。インシュアランス事業におけるリスクは、主として生命保険、医療保険、住宅保険および自動車保険に関するもので、市場リスクおよびオペレーショナル・リスクがこれに次ぐ。インベスター&トレジャリー・サービスにおける最大のリスクは信用リスクで、次いで市場リスクおよびオペレーショナル・リスク

である。キャピタル・マーケットにおける最も重要なリスクは信用リスクで、市場リスクがこれに次ぐ。下記の主要なリスクについての詳細は、「リスク管理」の項を参照のこと。

(後 略)

会計管理等

重要な会計方針および見積もり

< 訂正前 >

(前 略)

< のれんおよびその他の無形資産 >

(中 略)

当グループは、CGUの使用価値および売却コスト控除後の公正価値を、主として、各CGUによる収益および費用の予測を反映した割引キャッシュ・フロー法によって評価している。将来の予想キャッシュ・フロー（時期および金額は不明。）、割引率（CGU固有のリスクに基づく。）および期間成長率の決定においては、経営陣の重要な判断が行われる。CGU固有のリスクには、カントリー・リスク、事業／業務リスク、地域リスク（政治的リスク、評価引下げリスクおよび政府の規制等）、通貨リスクおよび価格リスク（商品価格リスクおよびインフレ等）が含まれる。将来の予想利益およびその他の仮定条件が、減損テストに用いた現在の数字と大幅に異なる場合、のれんの価値は減損する可能性がある。

(中 略)

< 連結 >

子会社とは、当グループが支配する事業体をいい、ストラクチャード・エンティティを含む。当グループがある事業体への関与により生じる変動リターンに対するエクスポージャーまたは権利を有し、かつ、投資先に対するパワーを通じて当該リターンに影響を及ぼす能力を有する場合、当グループは当該事業体を支配している。ある事業体のリターンに重要な影響を及ぼす活動（関連性のある活動）について、当グループが指図できるような既存の権利を有する場合、当グループは当該事業体に対して権限を有する。権限は、議決権または、ストラクチャード・エンティティの場合はその他の契約上の取決めに基づいて判断される。

(中 略)

< 金融資産の認識の中止 >

当グループでは定期的に、貸出金および一括モーゲージ担保证券（MBS）を、投資家に有価証券を発行するストラクチャード・エンティティまたは信託に証券化している。当グループは、資産からのキャッシュ・フローを受ける契約上の権利が失効したとき、キャッシュ・フローを受ける権利は保持しているが、パススルー規定によりかかるキャッシュ・フローを第三者に支払う義務を負う場合、またはキャッシュ・フローを受ける契約上の権利を譲渡し、当該資産の実質上すべてのリスクおよび経済価値を移転した場合、当該資産の認識を中止した。移転された資産の実質上すべてのリスクおよび経済価値を保持している場合、移転され

た資産は連結貸借対照表上で認識を中止されず、担保付資金調達取引として計上される。当該資産の所有権の実質上すべてのリスクおよび経済価値を保持も移転もしていない場合は、当該資産に対する支配権が放棄されたとき、認識を中止する。移転された資産に対して当グループが支配権を保持している場合、継続的関与の範囲で、引き続き当該移転資産を認識する。移転された金融資産の所有権の実質上すべてのリスクおよび経済価値を当グループが移転したかまたは保持しているかについては、経営陣が判断を下す。

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

< のれんおよびその他の無形資産 >

(中 略)

当グループは、CGUの使用価値および売却コスト控除後の公正価値を、主として、各CGUによる収益および費用の予測を反映した割引キャッシュ・フロー法によって評価している。将来の予想キャッシュ・フロー（時期および金額は不明。））、割引率（CGU固有のリスクに基づく。）および期間成長率の決定においては、経営陣の重要な判断が行われる。CGU固有のリスクには、カントリー・リスク、事業リスク / オペレーショナル・リスク、地域リスク（政治的リスク、評価引下げリスクおよび政府の規制等）、通貨リスクおよび価格リスク（商品価格リスクおよびインフレ等）が含まれる。将来の予想利益およびその他の仮定条件が、減損テストに用いた現在の数字と大幅に異なる場合、のれんの価値は減損する可能性がある。

(中 略)

< 連結 >

子会社とは、当グループが支配する事業体をいい、組成された企業を含む。当グループがある事業体への関与により生じる変動リターンに対するエクスポージャーまたは権利を有し、かつ、投資先に対するパワーを通じて当該リターンに影響を及ぼす能力を有する場合、当グループは当該事業体を支配している。ある事業体のリターンに重要な影響を及ぼす活動（関連性のある活動）について、当グループが指図できるような既存の権利を有する場合、当グループは当該事業体に対して権限を有する。権限は、議決権または、組成された企業の場合はその他の契約上の取決めに基づいて判断される。

(中 略)

< 金融資産の認識の中止 >

当グループでは定期的に、貸出金および一括モーゲージ担保证券（MBS）を、投資家に有価証券を発行する組成された企業または信託に証券化している。当グループは、資産からのキャッシュ・フローを受ける契約上の権利が失効したとき、キャッシュ・フローを受ける権利は保持しているが、パススルー規定によりかかるキャッシュ・フローを第三者に支払う義務を負う場合、またはキャッシュ・フローを受ける契約上の権利を譲渡し、当該資産の実質上すべてのリスクおよび経済価値を移転した場合、当該資産の認識を中止した。移転された資産の実質上すべてのリスクおよび経済価値を保持している場合、移転された資産は連結貸

借対照表上で認識を中止されず、担保付資金調達取引として計上される。当該資産の所有権の実質上すべてのリスクおよび経済価値を保持も移転もしていない場合は、当該資産に対する支配権が放棄されたとき、認識を中止する。移転された資産に対して当グループが支配権を保持している場合、継続的関与の範囲で、引き続き当該移転資産を認識する。移転された金融資産の所有権の実質上すべてのリスクおよび経済価値を当グループが移転したかまたは保持しているかについては、経営陣が判断を下す。

(後 略)

第 5 提出会社の状況

5 コーポレート・ガバナンスの状況等

(2) 監査報酬の内容等

外国監査公認会計士等に対する報酬の内容

監査関連報酬

< 訂正前 >

(前 略)

- ・ 複雑なストラクチャード商品に関する特定のストラクチャード・エンティティの監査

(後 略)

< 訂正後 >

(前 略)

- ・ 複雑なストラクチャード商品に関する特定の組成された組織の監査

(後 略)

第 6 経理の状況

1 財務書類

< 訂正前 >

(前略)

注記 3 金融商品の公正価値

(中略)

重大な観察可能でないインプットを用いた公正価値測定に関する定量的情報(レベル 3 商品)

(中略)

2014年10月31日現在(価格、パーセンテージおよび比率を除き百万カナダドル)

商品	公正価値ヒエラル キーの表における表 示科目	公正価値		評価技法	重大な観察可能 でないインプッ ト(1)	インプットの値の範囲(2),(3),(4)		
		資産	負債			低	高	加重平均/ インプット の分布(5)
非デリバティブ金融商品								
資産担保証券								
				価格ベース	価格	\$ 53.70	\$ 90.50	\$ 75.92
	資産担保証券	\$ 478		割引キャッシュ・ フロー	割引マージン	0.70%	9.48%	5.09%
					利回り	2.84%	5.36%	3.52%
					デフォルト率	1.00%	5.00%	2.00%
					期限前償還率	15.00%	30.00%	20.00%
					予想損失率	30.00%	70.00%	50.00%
オークション・レート 証券								
				割引キャッシュ・ フロー	割引マージン	1.32%	4.63%	2.26%
	米国の州、地方およ び政府機関債	979			デフォルト率	9.00%	10.00%	9.80%
	資産担保証券	166			期限前償還率	4.00%	8.00%	4.76%
					回収率	40.00%	97.50%	93.51%
社債								
				価格ベース	価格	\$ 2.50	\$ 119.52	\$ 97.86
	社債およびその他の 債券	100		割引キャッシュ・ フロー	利回り	2.75%	7.50%	3.84%
	貸出金	461			資産化率	6.43%	9.47%	7.95%
	空売りした有価証券 に関連する義務		4		流動性割引(6)	10.00%	10.00%	10.00%
政府債および地方債								
				価格ベース	価格	\$ 67.38	\$ 100.00	\$ 96.24
	米国の州、地方およ び政府機関債	416		割引キャッシュ・ フロー	利回り	0.17%	30.15%	3.06%
	その他のOECD加盟国 政府債	11						
	社債およびその他の 債券	1,616						
銀行資金および預金								
				割引キャッシュ・ フロー	金利 - 金利相関	19.00%	67.00%	均等
	預金		70		為替 - 為替相関	68.00%	68.00%	均等
					為替 - 金利相関	29.00%	56.00%	均等
未公開株式、ヘッジ ファンド投資および 関連するエクイ ティ・デリバティブ								
				類似会社の市場価 格	EV/EBITDA倍率	4.00X	10.80X	8.73X
	持分	1,194		価格ベース	P/E倍率	8.79X	15.70X	11.79X
	デリバティブ関連資 産	11		割引キャッシュ・ フロー	EV/Rev倍率	0.45X	7.50X	4.97X
	デリバティブ関連負 債		434		流動性割引(6)	—%	50.00%	26.92%
					割引率	12.00%	17.00%	14.78%
					純資産価値/価 格(7)	n.a.	n.a.	n.a.

2014年10月31日現在(価格、パーセンテージおよび比率を除き百万カナダドル)

商品	公正価値ヒエラルキーの表における表示科目	公正価値		評価技法	重大な観察可能でないインプット(1)	インプットの値の範囲(2),(3),(4)			加重平均/インプットの分布(5)
		資産	負債			低	高		
デリバティブ金融商品									
金利デリバティブおよび金利連動型仕組債(8)				割引キャッシュ・フロー	金利	2.96%	2.98%	均等	
	デリバティブ関連資産	348		オプション価格決定モデル	CPIスワップレート	1.73%	2.30%	均等	
	デリバティブ関連負債		732		金利 - 金利相関	19.00%	67.00%	均等	
					為替 - 金利相関	29.00%	56.00%	均等	
					為替 - 為替相関	68.00%	68.00%	均等	
					金利のボラティリティ	26.28%	28.28%	均等	
エクイティ・デリバティブおよび株式連動型仕組債(8)									
				割引キャッシュ・フロー	配当利回り	0.04%	18.11%	下方	
	デリバティブ関連資産	442		オプション価格決定モデル	エクイティ - エクイティ相関	0.50%	97.20%	中位	
	預金		497		エクイティ - 為替相関	(72.80)%	53.20%	中位	
	デリバティブ関連負債		529		エクイティのボラティリティ	1.00%	172.00%	下方	
その他(9)									
	モーゲージ担保証券	4							
	社債およびその他の債券	6							
	デリバティブ関連資産	100							
	デリバティブ関連負債		159						
	その他の負債		20						
合計		\$ 6,332	\$ 2,445						

(中略)

注記 6 金融資産の認識の中止

(中略)

オプション

オプションは売り手(writer)が買い手に、義務ではなく、権利を付与する契約上の取り決めである。その権利とは、有価証券、為替レート、金利、または他の金融商品もしくはコモディティを、予め決められた価格で、将来の特定の日またはその日までに購入する権利(コール・オプション)または売却する権利(プット・オプション)である。オプションの売り手(writer)も、買い手の権利の現金決済額を支払うことで、契約を手仕舞うことができる。売り手(writer)は、この権利の対価として、買い手からプレミアムを受け取る。当行が締結している各種のオプション契約には、金利オプション、通貨オプション、エクイティ・オプションおよび指数オプションが含まれるが、これに限定されない。

(中略)

注記10 のれんおよびその他の無形資産

のれん

(中略)

(百万カナダドル)	カナディア ン・バン キング	カリビ ア・バン キング	カナディア ン・ウェ ル・ス・マ ネジメン ト	グローバ ル・アセ ット・マ ネジメン ト	米国ウェ ル・ス・マ ネジメン ト	インター ナショナル ・ウェル ス・マ ネジメン ト	インシュ アランス	インベ スター ・タ ー・トレ ジャー リー・サ ービス	キャピ タル・マ ーケッ ツ	合計
2012年10月31日現在	\$1,929	\$1,446	\$ 543	\$1,889	\$ 517	\$ 127	\$ 118	\$ 52	\$ 837	\$7,458
取得	598	—	—	—	—	—	—	96	11	705
為替換算	—	58	5	48	22	5	—	1	30	169
2013年10月31日現在	\$2,527	\$1,504	\$ 548	\$1,937	\$ 539	\$ 132	\$ 118	\$ 149	\$ 878	\$8,332

処分	—	(51)	—	—	—	—	—	—	—	(51)
為替換算	—	140	10	105	43	9	—	—	59	366
2014年10月31日現在	\$2,527	\$1,593	\$ 558	\$2,042	\$ 582	\$ 141	\$ 118	\$ 149	\$ 937	\$8,647

(中略)

使用価値

(中略)

	以下の日現在			
	2014年 8 月 1 日		2013年 8 月 1 日	
	割引率(1)	期間成長率	割引率(1)	期間成長率
資金生成単位グループ				
カナディアン・バンキング		10.6%		3.0%
カリビアン・バンキング		13.0		12.9
カナディアン・ウェルス・マネジメント		11.9		11.9
グローバル・アセット・マネジメント		11.6		11.8
米国ウェルス・マネジメント		15.7		15.9
インターナショナル・ウェルス・マネジメント		10.3		11.8
インシュアランス		10.1		10.2
インベスター&トレジャリー・サービス		12.8		12.5
キャピタル・マーケット		15.9		15.6

(中略)

その他の無形資産

以下の表は、当行のその他の無形資産の帳簿価額を表している。

(百万カナダドル)	2014年10月31日現在					
	自己創設ソフトウェア	その他のソフトウェア	コア預金無形資産	顧客リストおよび顧客関係	開発中のソフトウェア	合計
帳簿価額総額						
2013年10月31日現在残高	\$ 2,554	\$ 1,128	\$ 157	\$ 1,509	\$ 711	\$ 6,059
増加	48	57	—	—	545	650
振替	750	22	—	—	(772)	—
処分	(4)	(2)	(3)	—	—	(9)
減損	—	—	—	(8)	—	(8)
為替換算	32	15	14	48	8	117
その他の変動	22	(34)	—	(38)	(5)	(55)
2014年10月31日現在残高	\$ 3,402	\$ 1,186	\$ 168	\$ 1,511	\$ 487	\$ 6,754
償却累計額						
2014年10月31日現在残高	\$ (1,815)	\$ (811)	\$ (117)	\$ (539)	\$ —	\$(3,282)
当年度の償却費	(460)	(60)	(22)	(124)	—	(666)
処分	4	1	—	—	—	5
減損損失	—	—	—	—	—	—
為替換算	(22)	(13)	(12)	(22)	—	(69)
その他の変動	—	(5)	—	38	—	33
2014年10月31日現在残高	\$ (2,293)	\$ (888)	\$ (151)	\$ (647)	\$ —	\$(3,979)
2014年10月31日現在正味残高	\$ 1,109	\$ 298	\$ 17	\$ 864	\$ 487	\$ 2,775

(中略)

注記17 年金およびその他の退職後給付

(中略)

以下の表は、役員退職に係る取決めを含む、世界規模での当行の重要な年金制度およびその他の退職後給付制度のすべてに関する財務情報を示している。

(百万カナダドル)	以下の日現在			
	2014年10月31日		2013年10月31日	
	確定給付 年金制度	その他の 退職後 給付制度	確定給付 年金制度	その他の 退職後 給付制度
カナダ				
制度資産の公正価値	\$ 10,419	\$ 4	\$ 9,454	\$ 3
確定給付債務の現在価値	10,767	1,754	9,519	1,636
積立不足純額	\$ (348)	\$ (1,750)	\$ (65)	\$ (1,633)
国外				
制度資産の公正価値	\$ 932	\$ —	\$ 812	\$ —
確定給付債務の現在価値	1,038	78	894	86
積立不足純額	\$ (106)	\$ (78)	\$ (82)	\$ (86)
合計				
制度資産の公正価値	\$ 11,351	\$ 4	\$ 10,266	\$ 3
確定給付債務の現在価値	11,805	1,832	10,413	1,722
積立不足純額合計	\$ (454)	\$ (1,828)	\$ (147)	\$ (1,719)
当行の連結貸借対照表における認識額				
制度資産の公正価値	\$ 138	\$ —	\$ 161	\$ —
確定給付債務の現在価値	(592)	(1,828)	(308)	(1,719)
積立不足純額合計	\$ (454)	\$ (1,828)	\$ (147)	\$ (1,719)

(中略)

注記19 劣後無担保社債

(中略)

(パーセンテージおよび外貨を除き、百万カナダドル)				以下の日現在	
満期	最短の額面償還日	利率	外貨建て (単位：百万)	2014年 10月31日	2013年 10月31日
2014年11月14日(1)		10.00%		\$ 200	\$ 217
2018年11月4日	2013年11月4日(2)	5.45%(3)		—	1,000
2020年6月15日	2015年6月15日	4.35%(4)		1,491	1,508
2020年11月2日	2015年11月2日	3.18%(5)		1,483	1,488
2023年6月8日		9.30%		110	110
2024年7月17日(6)	2019年7月17日	3.04%(7)		1,002	—
2024年12月6日	2019年12月6日	2.99%(8)		1,992	1,947
2026年9月29日(6)	2021年9月29日	3.45%(9)		1,009	—
2027年11月1日	2022年11月1日	4.75%	TT\$300	53	49
2037年6月26日	2017年6月26日	2.86%	JPY10,000	106	109
2083年10月1日	すべての利払日	(10)		224	224
2085年6月29日	すべての利払日	(11)	US\$174	196	181
2103年6月18日	2009年6月18日(12)	5.95%(13)		—	615
				\$ 7,866	\$ 7,448
繰延金融費用				(7)	(5)
				\$ 7,859	\$ 7,443

無担保社債の条件は以下の通りである。

- (1) 利率10.00%の劣後無担保社債の残高200百万ドル全額が、2014年11月14日に満期となった。
- (2) 劣後無担保社債の残高1十億ドル全額が、2013年11月14日に元本の100%に償還日までの未払利息を加算した額で償還された。

(中略)

注記22 株式に基づく報酬

ストック・オプション制度

(中略)

仮定の加重平均

(パーセンテージを除き、1株当たりカナダドル)	以下の日に終了した年度		
	2014年 10月31日	2013年 10月31日	2012年 10月31日
付与日現在の株価	\$ 68.75	\$ 58.65	\$ 48.19
リスクフリー金利	1.95%	1.38%	1.38%
予想配当	3.94%	4.19%	3.93%
株価の予想ボラティリティ	18%	18%	18%
オプションの予想存続期間	6年	6年	6年

(中略)

後配株式およびその他の制度

(中略)

純損益を通じて公正価値で測定するものとして保有する金融商品に係る利得(損失)純額(1)

(百万カナダドル)	以下の日に終了した年度		
	2014年 10月31日	2013年 10月31日	2012年 10月31日
利得(損失)純額			
純損益を通じて公正価値で測定するものとして分類(2)	\$ 922	\$ 875	\$ 1,217
純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定(3)	(132)	(30)	(54)
	\$ 790	\$ 845	\$ 1,163
商品ライン別			
金利および信用	\$ 603	\$ 593	\$ 805
持分	(190)	(55)	(8)
為替およびコモディティ	377	307	366
	\$ 790	\$ 845	\$ 1,163

(1) 当行の保険業務に関連する以下の項目は、利息以外の収益から除かれ、連結損益計算書の「保険料、投資および手数料収入」に含まれている。FVTPLとして指定された金融商品に係る利得(損失)純額515百万ドル(2013年12月31日 - (496)百万ドル、2012年10月31日 - 439百万ドル)。

(中略)

注記30 事業セグメント別業績

事業セグメントの構成

(中略)

キャピタル・マーケットは、当行のグローバルでのホールセール銀行事業の大部分から構成されており、当行の主要な2つの事業分野(グローバル・マーケットおよびコーポレート・アンド・インベストメント・バンキング)を通じ、公開企業および非公開企業、機関投資家、政府、ならびに中央銀行に対して、幅広い商品およびサービスを提供している。北米では、全種類の商品およびサービスを提供しており、これには、法人向け銀行業務および投資銀行業務、資本性商品および債券のオリジネーションおよび販売、ならびに組成および売買が含まれる。北米以外では、英国、ヨーロッパおよびアジア太平洋地域の限定的な地域に進出しており、これらの地域では、エネルギー、鉱業およびインフラ等の専門性を有する当行の主要部門において多様な業務を提供している。

(中略)

2012年10月31日終了年度

(百万カナダドル)	パーソナル ＆コマー シャル・バ ンキング	ウェルス・ マネジメン ト	インシュア ランス	インベス ター＆トレ ジャー・サ ービス	キャピタ ル・マー ケッツ(1)	コーポレー ト・サポー ト(1)	合計	カナダ	米国	その他 国外
受取利息純額(2),(3)	\$ 9,059	\$ 393	\$ —	\$ 612	\$ 2,559	\$ (184)	\$ 12,439	\$ 10,391	\$ 1,308	\$ 740
利息以外の収益	3,379	4,442	4,897	293	3,629	68	16,708	9,059	3,569	4,080
収益合計	12,438	4,835	4,897	905	6,188	(116)	29,147	19,450	4,877	4,820
貸倒引当金繰入額	1,165	(1)	—	—	135	—	1,299	1,018	90	191
保険契約者に対する給 付、保険金および新 契約費	—	—	3,621	—	—	—	3,621	2,315	21	1,285
利息以外の費用	5,822	3,809	518	701	3,752	39	14,641	8,586	3,406	2,649
税引前純利益(損失)	5,451	1,027	758	204	2,301	(155)	9,586	7,531	1,360	695
法人所得税(戻入)	1,395	274	45	102	725	(513)	2,028	1,527	521	(20)
継続事業からの純利益	4,056	753	713	102	1,576	358	7,558	6,004	839	715
非継続事業からの 純利益	—	—	—	—	—	—	(51)	—	(51)	—
当期純利益	\$ 4,056	\$ 753	\$ 713	\$ 102	\$ 1,576	\$ 358	\$ 7,507	\$ 6,004	\$ 788	\$ 715
利息以外の費用は以下 を含む：										
減価償却費および 償却費	\$ 253	\$ 136	\$ 14	\$ 15	\$ 27	\$ 452	\$ 897	\$ 723	\$ 38	\$ 136
その他の無形資 産の減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
リストラクチャーリ ング引当金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資産合計	\$342,514	\$ 21,993	\$ 12,322	\$ 77,255	\$355,153	\$ 14,717	\$832,954	\$457,386	\$173,179	\$193,389
資産合計は以下を 含む：										
有形固定資産および 無形資産の増加	\$ 240	\$ 133	\$ 11	\$ 304	\$ 128	\$ 877	\$ 1,693	\$ 1,069	\$ 145	\$ 479
負債合計	\$341,368	\$ 21,979	\$ 12,372	\$ 77,276	\$355,030	\$ (28,992)	\$779,033	\$412,406	\$173,308	\$193,319

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

注記 3 金融商品の公正価値

(中略)

重大な観察可能でないインプットを用いた公正価値測定に関する定量的情報(レベル 3 商品)

(中略)

2014年10月31日現在(価格、パーセンテージおよび比率を除き百万カナダドル)

商品	公正価値ヒエラル キーの表における表 示科目	公正価値		評価技法	重大な観察可能 でないインプッ ト(1)	インプットの値の範囲(2),(3),(4)		
		資産	負債			低	高	加重平均/ インプット の分布(5)
非デリバティブ金融商品								
資産担保証券								
				価格ベース	価格	\$ 53.70	\$ 90.50	\$ 75.92
	資産担保証券	\$ 478		割引キャッシュ・ フロー	割引マージン	0.70%	9.48%	5.09%
					利回り	2.84%	5.36%	3.52%
					デフォルト率	1.00%	5.00%	2.00%
					期限前償還率	15.00%	30.00%	20.00%
					予想損失率	30.00%	70.00%	50.00%
オークション・レート証券								
				割引キャッシュ・ フロー	割引マージン	1.32%	4.63%	2.26%
					デフォルト率	9.00%	10.00%	9.80%
	米国の州、地方およ び政府機関債	979			期限前償還率	4.00%	8.00%	4.76%
	資産担保証券	166			回収率	40.00%	97.50%	93.51%
社債								
				価格ベース	価格	\$ 2.50	\$ 119.52	\$ 97.86
	社債およびその他の 債券	100		割引キャッシュ・ フロー	利回り	2.75%	7.50%	3.84%

	貸出金	461		資産化率	6.43%	9.47%	7.95%	
	空売りした有価証券 に関連する義務		4	流動性割引(6)	10.00%	10.00%	10.00%	
政府債および地方債				価格ベース	価格	\$ 67.38	\$ 100.00	\$ 96.24
	米国の州、地方およ び政府機関債	416		割引キャッシュ・ フロー	利回り	0.17%	30.15%	3.06%
	その他のOECD加盟国 政府債	11						
	社債およびその他の 債券	1,616						
銀行資金および預金				割引キャッシュ・ フロー	金利 - 金利相関	19.00%	67.00%	均等
	預金		70		為替 - 為替相関	68.00%	68.00%	均等
					為替 - 金利相関	29.00%	56.00%	均等
未公開株式、ヘッジ ファンド投資および 関連するエクイ ティ・デリバティブ				類似会社の市場価 格	EV/EBITDA倍率	4.00X	10.80X	8.73X
	持分	1,194		価格ベース	P/E倍率	8.79X	15.70X	11.79X
	デリバティブ関連資 産	11		割引キャッシュ・ フロー	EV/Rev倍率	0.45X	7.50X	4.97X
	デリバティブ関連負 債		434		流動性割引(6)	—%	50.00%	26.92%
					割引率	12.00%	17.00%	14.78%
					純資産価値/価 格(7)	n.a.	n.a.	n.a.

2014年10月31日現在(価格、パーセンテージおよび比率を除き百万カナダドル)

商品	公正価値ヒエラルキーの表における表示科目	公正価値		評価技法	重大な観察可能でないインプット(1)	インプットの値の範囲(2),(3),(4)		
		資産	負債			低	高	加重平均/インプットの分布(5)
デリバティブ金融商品								
金利デリバティブおよび金利連動型仕組債(8)				割引キャッシュ・フロー	金利	2.96%	2.98%	均等
	デリバティブ関連資産	348		オプション価格決定モデル	CPIスワップレート	1.73%	2.30%	均等
	デリバティブ関連負債		732		金利 - 金利相関	19.00%	67.00%	均等
					為替 - 金利相関	29.00%	56.00%	均等
					為替 - 為替相関	68.00%	68.00%	均等
					金利のボラティリティ	26.28%	28.28%	均等
エクイティ・デリバティブおよび株式連動型仕組債(8)								
				割引キャッシュ・フロー	配当利回り	0.04%	18.11%	下方
	デリバティブ関連資産	442		オプション価格決定モデル	エクイティ - エクイティ相関	0.50%	97.20%	中位
	預金		497		エクイティ - 為替相関	(72.80)%	53.20%	中位
	デリバティブ関連負債		529		エクイティのボラティリティ	1.00%	172.00%	下方
その他(9)								
	モーゲージ担保証券	4						
	社債およびその他の債券	6						
	デリバティブ関連資産	100						
	デリバティブ関連負債		159					
	その他の負債		20					
合計		\$ 6,332	\$ 2,445					

(中略)

注記6 金融資産の認識の中止

(中略)

オプション

オプションは売り手(ライター)が買い手に、義務ではなく、権利を付与する契約上の取り決めである。その権利とは、有価証券、為替レート、金利、または他の金融商品もしくはコモディティを、予め決められた価格で、将来の特定の日またはその日までに購入する権利(コール・オプション)または売却する権利(プット・オプション)である。オプションの売り手(ライター)も、買い手の権利の現金決済額を支払うことで、契約を手仕舞うことができる。売り手(ライター)は、この権利の対価として、買い手からプレミアムを受け取る。当行が締結している各種のオプション契約には、金利オプション、通貨オプション、エクイティ・オプションおよび指数オプションが含まれるが、これに限定されない。

(中略)

注記10 のれんおよびその他の無形資産

のれん

(中略)

(百万カナダドル)	カナディア ン・バン キング	カリビ ア・バン キング	カナディア ン・ウェ ル・ス・マ ネジメン ト	グローバ ル・アセ ス・マネ ジメン ト	USウェ ル・ス・マ ネジメン ト	インター ナショナル ・ウェル ス・マネ ジメン ト	インシュ アランス	インベ スター ・トレ ジャー ・サー ビス	キャピ タル・マ ーケッ ツ	合計
2012年10月31日現在	\$1,929	\$1,446	\$ 543	\$1,889	\$ 517	\$ 127	\$ 118	\$ 52	\$ 837	\$7,458
取得	598	—	—	—	—	—	—	96	11	705
為替換算	—	58	5	48	22	5	—	1	30	169

2013年10月31日 現在	\$2,527	\$1,504	\$ 548	\$1,937	\$ 539	\$ 132	\$ 118	\$ 149	\$ 878	\$8,332
処分	—	(51)	—	—	—	—	—	—	—	(51)
為替換算	—	140	10	105	43	9	—	—	59	366
2014年10月31日 現在	\$2,527	\$1,593	\$ 558	\$2,042	\$ 582	\$ 141	\$ 118	\$ 149	\$ 937	\$8,647

(中略)

使用価値

(中略)

	以下の日現在			
	2014年 8 月 1 日		2013年 8 月 1 日	
	割引率(1)	期間成長率	割引率(1)	期間成長率
資金生成単位グループ				
カナディアン・バンキング	10.6%	3.0%	10.6%	3.0%
カリビアン・バンキング	13.0	4.2	12.9	4.2
カナディアン・ウェルス・マネジメント	11.9	3.0	11.9	3.0
グローバル・アセット・マネジメント	11.6	3.0	11.8	3.0
USウェルス・マネジメント	15.7	3.0	15.9	3.0
インターナショナル・ウェルス・マネジメント	10.3	3.0	11.8	3.0
インシュアランス	10.1	3.0	10.2	3.0
インベスター&トレジャリー・サービス	12.8	3.0	12.5	3.0
キャピタル・マーケット	15.9	3.0	15.6	3.0

(中略)

その他の無形資産

以下の表は、当行のその他の無形資産の帳簿価額を表している。

(百万カナダドル)	2014年10月31日現在					
	自己創設ソフトウェア	その他のソフトウェア	コア預金無形資産	顧客リストおよび顧客関係	開発中のソフトウェア	合計
帳簿価額総額						
2013年10月31日現在残高	\$ 2,554	\$ 1,128	\$ 157	\$ 1,509	\$ 711	\$ 6,059
増加	48	57	—	—	545	650
振替	750	22	—	—	(772)	—
処分	(4)	(2)	(3)	—	—	(9)
減損	—	—	—	(8)	—	(8)
為替換算	32	15	14	48	8	117
その他の変動	22	(34)	—	(38)	(5)	(55)
2014年10月31日現在残高	\$ 3,402	\$ 1,186	\$ 168	\$ 1,511	\$ 487	\$ 6,754
償却累計額						
2013年10月31日現在残高	\$ (1,815)	\$ (811)	\$ (117)	\$ (539)	\$ —	\$(3,282)
当年度の償却費	(460)	(60)	(22)	(124)	—	(666)
処分	4	1	—	—	—	5
減損損失	—	—	—	—	—	—
為替換算	(22)	(13)	(12)	(22)	—	(69)
その他の変動	—	(5)	—	38	—	33
2014年10月31日現在残高	\$ (2,293)	\$ (888)	\$ (151)	\$ (647)	\$ —	\$(3,979)
2014年10月31日現在正味残高	\$ 1,109	\$ 298	\$ 17	\$ 864	\$ 487	\$ 2,775

(中略)

注記17 年金およびその他の退職後給付

(中略)

以下の表は、役員退職に係る取決めを含む、世界規模での当行の重要な年金制度およびその他の退職後給付制度のすべてに関する財務情報を示している。

(百万カナダドル)	以下の日現在			
	2014年10月31日		2013年10月31日	
	確定給付 年金制度	その他の 退職後 給付制度	確定給付 年金制度	その他の 退職後 給付制度
カナダ				
制度資産の公正価値	\$ 10,419	\$ 4	\$ 9,454	\$ 3
確定給付債務の現在価値	10,767	1,754	9,519	1,636
積立不足純額	\$ (348)	\$ (1,750)	\$ (65)	\$ (1,633)
国外				
制度資産の公正価値	\$ 932	\$ —	\$ 812	\$ —
確定給付債務の現在価値	1,038	78	894	86
積立不足純額	\$ (106)	\$ (78)	\$ (82)	\$ (86)
合計				
制度資産の公正価値	\$ 11,351	\$ 4	\$ 10,266	\$ 3
確定給付債務の現在価値	11,805	1,832	10,413	1,722
積立不足純額合計	\$ (454)	\$ (1,828)	\$ (147)	\$ (1,719)
当行の連結貸借対照表における認識額				
従業員給付資産	\$ 138	\$ —	\$ 161	\$ —
従業員給付負債	(592)	(1,828)	(308)	(1,719)
積立不足純額合計	\$ (454)	\$ (1,828)	\$ (147)	\$ (1,719)

(中略)

注記19 劣後無担保社債

(中略)

(パーセンテージおよび外貨を除き、百万カナダドル)				以下の日現在	
満期	最短の額面償還日	利率	外貨建て (単位：百万)	2014年 10月31日	2013年 10月31日
2014年11月14日(1)		10.00%		\$ 200	\$ 217
2018年11月4日	2013年11月4日(2)	5.45%(3)		—	1,000
2020年6月15日	2015年6月15日	4.35%(4)		1,491	1,508
2020年11月2日	2015年11月2日	3.18%(5)		1,483	1,488
2023年6月8日		9.30%		110	110
2024年7月17日(6)	2019年7月17日	3.04%(7)		1,002	—
2024年12月6日	2019年12月6日	2.99%(8)		1,992	1,947
2026年9月29日(6)	2021年9月29日	3.45%(9)		1,009	—
2027年11月1日	2022年11月1日	4.75%	TT\$300	53	49
2037年6月26日	2017年6月26日	2.86%	JPY10,000	106	109
2083年10月1日	すべての利払日	(10)		224	224
2085年6月29日	すべての利払日	(11)	US\$174	196	181
2103年6月18日	2009年6月18日(12)	5.95%(13)		—	615
				\$ 7,866	\$ 7,448
繰延金融費用				(7)	(5)
				\$ 7,859	\$ 7,443

無担保社債の条件は以下の通りである。

(1) 利率10.00%の劣後無担保社債の残高200百万ドル全額が、2014年11月14日に満期となった。

(2) 劣後無担保社債の残高 1 十億ドル全額が、2013年11月 4 日に元本の100%に償還日までの未払利息を加算した額で償還された。

(中略)

注記22 株式に基づく報酬

ストック・オプション制度

(中略)

仮定の加重平均

(パーセンテージを除き、1株当たりカナダドル)	以下の日に終了した年度		
	2014年 10月31日	2013年 10月31日	2012年 10月31日
付与日現在の株価	\$ 68.75	\$ 58.65	\$ 48.19
リスクフリー金利	1.95%	1.38%	1.38%
予想配当利回り	3.94%	4.19%	3.93%
株価の予想ボラティリティ	18%	18%	18%
オプションの予想存続期間	6 年	6 年	6 年

(中略)

後配株式およびその他の制度

(中略)

純損益を通じて公正価値で測定するものとして保有する金融商品に係る利得(損失)純額(1)

(百万カナダドル)	以下の日に終了した年度		
	2014年 10月31日	2013年 10月31日	2012年 10月31日
利得(損失)純額			
純損益を通じて公正価値で測定するものとして分類(2)	\$ 922	\$ 875	\$ 1,217
純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定(3)	(132)	(30)	(54)
	\$ 790	\$ 845	\$ 1,163
商品ライン別			
金利および信用	\$ 603	\$ 593	\$ 805
持分	(190)	(55)	(8)
為替およびコモディティ	377	307	366
	\$ 790	\$ 845	\$ 1,163

(1) 当行の保険業務に関連する以下の項目は、利息以外の収益から除かれ、連結損益計算書の「保険料、投資および手数料収入」に含まれている。FVTPLとして指定された金融商品に係る利得(損失)純額515百万ドル(2013年10月31日 - (496)百万ドル、2012年10月31日 - 439百万ドル)。

(中略)

注記30 事業セグメント別業績

事業セグメントの構成

(中略)

キャピタル・マーケットは、当行のグローバルでのホールセール銀行事業の大部分から構成されており、当行の主要な2つの事業分野(グローバル・マーケットおよびコーポレート・アンド・インベストメント・バンキング)を通じ、公開企業および非公開企業、機関投資家、政府、ならびに中央銀行に対して、幅広い商品およびサービスを提供している。北米では、全種類の商品およびサービスを提供しており、これには、法人向け銀行業務および投資銀行業務、資本性商品および債券のオリジネーションおよび販売、ならびに組成および売買が含まれる。北米以外では、英国、ヨーロッパおよびアジア太平洋地域の限定的な地域に進出しており、これらの地域では、エネルギー、鉱業およびインフラ等の当行が専門性を有する主要分野において多様な業務を提供している。

(中略)

2012年10月31日終了年度										
(百万カナダドル)	パーソナル&コマーシャル・バンキング	ウェルス・マネジメント	インシュアランス	インベスター&トレジャーリー・サービス	キャピタル・マーケット(1)	コーポレート・サポート(1)	合計	カナダ	米国	その他 国外
受取利息純額(2),(3)	\$ 9,059	\$ 393	\$ —	\$ 612	\$ 2,559	\$ (184)	\$ 12,439	\$ 10,391	\$ 1,308	\$ 740
利息以外の収益	3,379	4,442	4,897	293	3,629	68	16,708	9,059	3,569	4,080
収益合計	12,438	4,835	4,897	905	6,188	(116)	29,147	19,450	4,877	4,820
貸倒引当金繰入額	1,165	(1)	—	—	135	—	1,299	1,018	90	191
保険契約者に対する給付、保険金および新契約費	—	—	3,621	—	—	—	3,621	2,315	21	1,285
利息以外の費用	5,822	3,809	518	701	3,752	39	14,641	8,586	3,406	2,649
税引前純利益(損失)	5,451	1,027	758	204	2,301	(155)	9,586	7,531	1,360	695
法人所得税(戻入)	1,395	274	45	102	725	(513)	2,028	1,527	521	(20)
継続事業からの純利益	4,056	753	713	102	1,576	358	7,558	6,004	839	715
非継続事業からの純利益	—	—	—	—	—	—	(51)	—	(51)	—
当期純利益	\$ 4,056	\$ 753	\$ 713	\$ 102	\$ 1,576	\$ 358	\$ 7,507	\$ 6,004	\$ 788	\$ 715
利息以外の費用は以下を含む：										
減価償却費および償却費	\$ 253	\$ 136	\$ 14	\$ 15	\$ 27	\$ 452	\$ 897	\$ 723	\$ 38	\$ 136
その他の無形資産の減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
リストラクチャリング引当金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資産合計	\$342,514	\$ 21,993	\$ 12,322	\$ 77,255	\$355,153	\$ 14,717	\$823,954	\$457,386	\$173,179	\$193,389
資産合計は以下を含む：										
有形固定資産および無形資産の増加	\$ 240	\$ 133	\$ 11	\$ 304	\$ 128	\$ 877	\$ 1,693	\$ 1,069	\$ 145	\$ 479
負債合計	\$341,368	\$ 21,979	\$ 12,372	\$ 77,276	\$355,030	\$ (28,992)	\$779,033	\$412,406	\$173,308	\$193,319

(後略)